

洋野町内試掘調査報告書

風力発電事業に伴う埋蔵文化財確認試掘調査
(2019年度調査)

2021.3

岩手県洋野町教育委員会

洋野町内試掘調査報告書

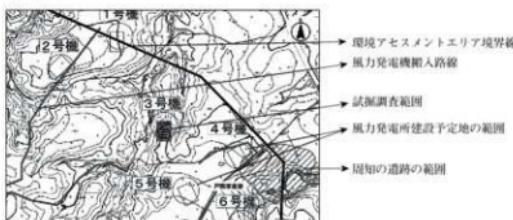
風力発電事業に伴う埋蔵文化財確認試掘調査
(2019年度調査)

例　　言

1. 本報告書は、岩手県九戸郡洋野町内において実施される風力発電事業に伴う事前の埋蔵文化財確認試掘調査結果を収録したものである。
2. 試掘調査に係る費用は事業主にご負担いただいた。事業主は次の通りである。
日本風力開発株式会社
3. 試掘調査は、洋野町教育委員会が主体として実施したもので、株式会社アーキジオが調査支援業務を行った。
調査責任者：千田政博（洋野町教育委員会）
調査員：田中寿明　調査補助員：村上佳、山田千種（株式会社アーキジオ）
4. 本書の編集・構成は田中が行い、執筆については第Ⅰ・Ⅲ・V章を千田、第Ⅱ・Ⅳ・V章を田中が担当した。
5. 第Ⅲ章「洋野町内の遺跡」については、令和2年（2020）4月時点での「岩手県遺跡台帳」に基づくものである。
6. 試掘調査及び報告書作成等に際して、下記の方々からご指導、ご助言を賜った。記して感謝申し上げます。
(五十音順、敬称略)
相原淳一、斎野裕彦、福田友之、藤沼邦彦、松山力
7. 試掘調査作業において、下記の方々にご協力をいただいた。(五十音順、敬称略)
安藤セツ、岩谷タミ、川戸ちせ、黒坂吉藏、館野カツエ、館野孝子、館野隆、塚野忠男、長根山一、畠中ヨシエ、有限会社薩摩建設
8. 報告書作成に際して、下記の方々にご協力をいただいた。(五十音順、敬称略)
今野かおる、横石貴子、松浦富子、村田千鶴、横山香
9. 基準点の測量は、株式会社北山測量設計に委託した。
10. 調査で得られた出土遺物・諸記録等については、洋野町教育委員会で保管・管理している。
11. 引用・参考文献は文末に収めた。

凡　　例

1. 第1図・第10図は、国土地理院発行の50,000分の1の地形図を複写して使用した。
2. 第2図は、50,000分の1の洋野町管内図を複写して使用した。
3. 第Ⅳ章の調査結果に掲載した地形図は、国土地理院発行の25,000分の1の地形図を複製・加筆・修正して使用した。



目 次

例言	
凡例	
I . 試掘調査に至る経過	2
II . 試掘調査の概要	2
III . 洋野町内の遺跡	3
IV . 試掘調査結果	20
<第1次試掘調査>	
風力発電第3号機	20
風力発電第7号機	20
風力発電第11号機	21
風力発電第16号機	21
風力発電第17号機	22
<第2次試掘調査>	
風力発電第18号機	22
風力発電第20号機	23
風力発電第23号機	23
風力発電第28号機	24
風力発電第30号機	24
<第3次試掘調査>	
風力発電第2号機	25
風力発電第5号機	25
風力発電第24号機	26
V . 試掘調査のまとめ	34
報告書抄録	

表目次

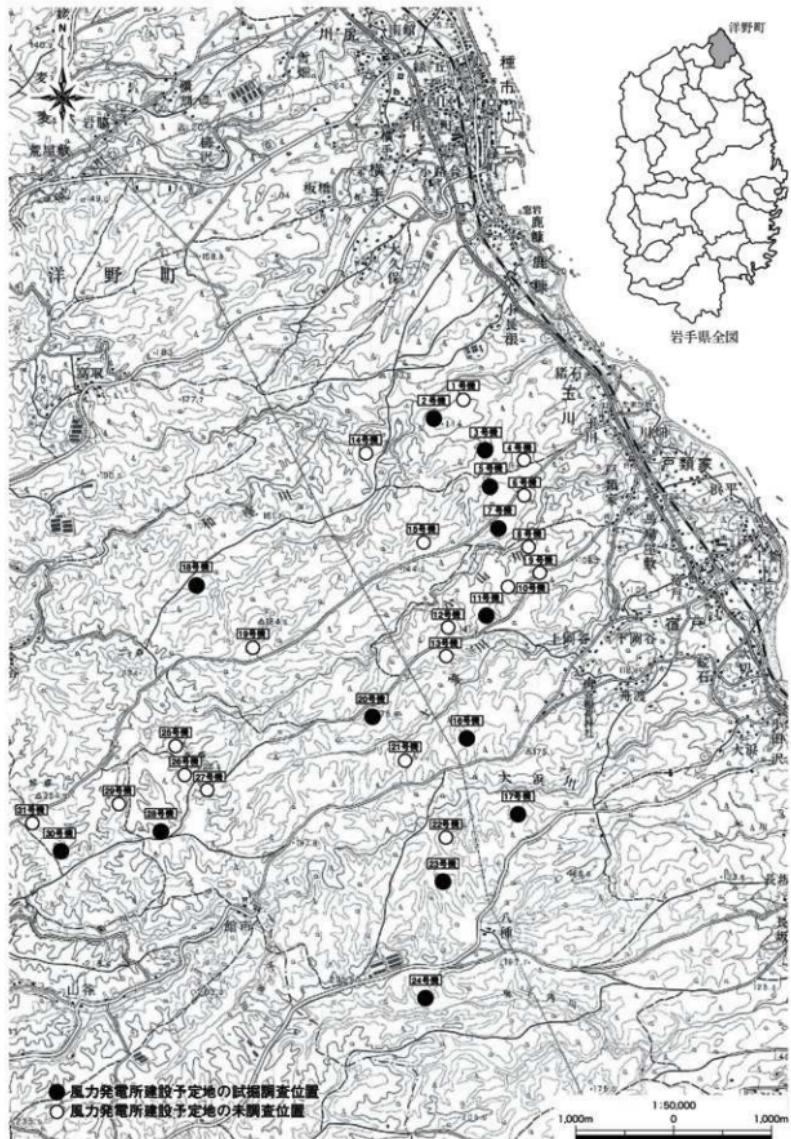
第1表 町内の遺跡一覧 (1).....	10	第1表 町内の遺跡一覧 (7).....	16
第1表 町内の遺跡一覧 (2).....	11	第1表 町内の遺跡一覧 (8).....	17
第1表 町内の遺跡一覧 (3).....	12	第1表 町内の遺跡一覧 (9).....	18
第1表 町内の遺跡一覧 (4).....	13	第2表 試掘調査結果一覧.....	35
第1表 町内の遺跡一覧 (5).....	14	第3表 出土遺物観察表 (土器)	41
第1表 町内の遺跡一覧 (6).....	15	第4表 出土遺物観察表 (石器)	41

図版目次

第 1 図 試掘調査位置図	1	第 7 図 深掘土層序	31
第 2 図 町内遺跡分布図	9	第 8 図 深掘土層序	32
第 3 図 深掘土層序	27	第 9 図 深掘土層序	33
第 4 図 深掘土層序	28	第 10 図 新規発見の遺跡位置図	36
第 5 図 深掘土層序	29	第 11 図 出土遺物	37
第 6 図 深掘土層序	30		

写真図版目次

写真図版 1 出土遺物	37	写真図版 10 第 3 次調査地全景	47
写真図版 2 出土遺物	38	写真図版 11 第 3 次調査地全景	48
写真図版 3 出土遺物	39	写真図版 12 第 1 次試掘調査	49
写真図版 4 出土遺物	40	写真図版 13 第 1 次試掘調査	50
写真図版 5 第 1 次調査地全景	42	写真図版 14 第 1 次試掘調査	51
写真図版 6 第 1 次調査地全景	43	写真図版 15 第 1 次試掘調査	52
写真図版 7 第 1 次・第 2 次調査地全景	44	写真図版 16 第 1 次・第 2 次試掘調査	53
写真図版 8 第 2 次調査地全景	45	写真図版 17 第 2 次試掘調査	54
写真図版 9 第 2 次調査地全景	46	写真図版 18 第 2 次・第 3 次試掘調査	55



第1図 試掘調査位置図

I. 試掘調査に至る経過

試掘調査は、日本風力開発株式会社による風力発電事業に伴い実施されたものである。事業計画では洋野町内の31箇所に風車を建設するもので、平成30年9月6日、事業者から洋野町教育委員会教育長あてに事業地の埋蔵文化財包蔵地の所在について照会があり、事業地内の掘削面積や建設数を踏まえ、分布調査が必要であるとの回答をした。その後同年10月5日、分布調査の依頼書が提出され、事業地を確認したところ、地形等の状況から全ての建設予定地について埋蔵文化財確認試掘調査が必要であるとの回答をした。

平成31年3月29日、事業者より風車建設予定地の風車番号3号機、7号機、11号機、16号機、17号機の5基分を第1次試掘調査として、試掘調査依頼書が洋野町教育委員会教育長あてに提出され、平成31年4月22日～令和元年6月18日まで、各風車建設工事個所の7,000m²を対象に試掘調査を実施した。その後令和元年7月18日、第2次試掘調査として風車番号18号機、20号機、23号機、28号機、30号機の5基分の試掘調査依頼書が提出され、令和元年7月26日～8月23日まで試掘調査を実施した。調査の結果、3号機、7号機、11号機、16号機、18号機、23号機の風車建設予定地から遺構、遺物が検出された。

その後令和元年10月25日、第3次試掘調査として風車番号2号機、5号機、24号機の3基分の試掘調査依頼書が提出され、令和元年11月14日～11月29日まで試掘調査を実施した。調査の結果、2号機、5号機、24号機の建設予定地いずれからも遺構が検出された。

II. 試掘調査の概要

今回の試掘調査は、31箇所の建設計画地の内、13箇所について実施した。1箇所あたりの調査対象面積が7,000m²（100 m × 70 m）で、調査地内に幅1.5m、長さ50mのトレンチ（試掘溝）を6箇所設定することを基本とした。トレンチは重機により表土掘削後、繊維等を用いて人力により遺構の確認を行った。また、トレンチ内の壁についても、樹木根及び草根を除去し、継繊等や肉乃鍥等を用いて壁面での遺構の確認にも努めた。

トレンチは地形等を考慮しながら任意により設定したもので、掘削は遺構確認面の地山（八戸火山灰層上位面相当）までとした。また、調査の状況に応じて範囲の拡張やサブトレンチを設けた。遺構、或いは樹木根等の複雑な場合は、テストトレンチを設定して確認を行った。

遺構確認作業と並行して検出された遺構プラン等を作図した。また、各調査地内には土層序観察のための深掘りを行い、堆積状況を観察し、各土層の注記をした。記録写真は35mmデジタル一眼レフカメラを用いて撮影し、調査終了後は無人航空機（ドローン）による空中撮影を行った。

III. 洋野町内の遺跡

洋野町内に所在する遺跡は、令和2年（2020）4月現在、岩手県遺跡台帳に232遺跡が登録されている。平成23年（2011）以降、三陸沿岸道路建設や再生可能エネルギー事業等に係る試掘調査により新規発見の遺跡が増加している。

町内遺跡詳細分布調査は、旧種市町が行った平成16年度（2004）の角の浜・伝吉・平内・麦沢（姥沢）地区的分布調査のみである。旧大野村分についても実施しておらず、町内には未発見の遺跡が多く所在するものと想定される。町内の発掘調査は岩手大学草間俊一氏により昭和30年（1955）から昭和36年（1961）にかけて遺跡の踏査と発掘調査が行われたのが最初であるが、その後平成25年度（2013）までの調査事例は数件にとどまっていた。平成26年度（2014）以降、三陸沿岸道路建設等に伴う本発掘調査により調査事例が急激に増加したもの、町内に所在する遺跡の様相については不明な部分が多い。

旧石器時代の遺跡として、中野地区の尺沢遺跡（222）が登録されている。同遺跡は令和元年度（2019）、久慈地区汚泥再生処理センター建設工事に係る洋野町教育委員会による発掘調査で、ナイフ形石器が出土している。その他にも「角川日本地名大辞典3」には、『鉄山遺跡』、『有家遺跡』と未登録遺跡の記載があり、いずれも高館火山灰層最上部から旧石器が発見されたとある。今後の埋蔵文化財調査において、高館火山灰層については注視していくなければならない。

縄文時代の遺跡数は、全体の7割以上を占める。草創期の遺跡として板橋Ⅱ遺跡（221）がある。同遺跡は三陸沿岸道路建設事業に伴い、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下岩手県埋蔵文化財センターに略称する）による令和元年度の調査において、爪形文土器が出土している。爪形文がV字状に並ぶことから、八戸市黄槻遺跡で出土した爪形文土器に近いものとみられる。

早期の遺跡として、ゴッソー遺跡（20）、大宮Ⅱ遺跡（47）、大宮Ⅰ遺跡（48）、宿戸遺跡（199）、中野城内遺跡（203）、尺沢遺跡（222）などがある。旧石器が出土した尺沢遺跡では、日計式の押型文土器が出土し、同時期とみられる石器も出土している。また、岩手県埋蔵文化財センターによる平成6年度（1994）のゴッソー遺跡発掘調査では日計式土器、魚骨回転文土器等が出土している。

貝殻文の土器が出土した事例は古く、昭和36年の草間氏による大宮遺跡の発掘調査時に出土したものが、岩手県で初めて復元された貝殻文の尖底土器と報告がある。中野城内遺跡では、三陸沿岸道路建設事業に伴い岩手県埋蔵文化財センターによる平成29年度（2017）の調査で、早期とみられる土坑、白浜式土器が出土している。

前期の遺跡として、ゴッソー遺跡（20）、上のマッカ遺跡（43）、北ノ沢Ⅰ遺跡（163）、小田ノ沢Ⅰ遺跡（200）などがある。ゴッソー遺跡は早期～晩期の縄文土器が出土しているが、前期初頭の遺物量が多く、特に平成6年度の岩手県埋蔵文化財センターによる本発掘調査で出土したコンバス文土器や押型文土器は岩手県で初めての出土とみられる。同遺跡も昭和36年に草間氏により発掘調査された遺跡で、縄文時代前期の土器を中心にして出土している。なお、上のマッカ遺跡は昭和36年、草間氏の調査により、貝塚が存在する可能性が指摘されている。

中期の遺跡として、千敷平遺跡（4）、ゴッソー遺跡（20）、上のマッカ遺跡（43）、北ノ沢Ⅰ遺跡（163）などがある。平成27年度（2015）洋野町教育委員会によるゴッソー遺跡の本発掘調査では、中期初頭の堅穴住跡が1軒発見され、三重の入れ子にした土器埋設炉と単体の土器埋設炉が並列した状態で出土した。その入れ子の土器埋設炉の中からヒエの胚乳が検出されている。

後期の遺跡として、平内Ⅱ遺跡（65）、上水沢Ⅱ遺跡（92）、西平内Ⅰ遺跡（185）、南川尻遺跡（194）、サンニヤⅠ遺跡（195）、北鹿棟遺跡（196）、下向Ⅰ遺跡（202）、続石遺跡（213）、サンニヤⅢ遺跡（218）などがある。町内の縄文時代の遺跡で、後期前葉に位置付けられる遺跡が一番多く、その中でも溝状土坑（陥し穴状遺構）と

後期前葉の土器が出土する遺跡が多数を占める。平内Ⅱ遺跡は洋野町教育委員会により、平成11年度（1999）から平成25年度の間、延べ6箇年発掘調査が行われた。屋外炉、集石、焼土構造、溝状土坑が検出されており、出土した土器は主に後期前葉に位置付けられる。上水沢Ⅱ遺跡は平成12年度（2000）に岩手県埋蔵文化財センターにより本発掘調査が行われ、後期前葉から後葉の堅穴住居跡が11軒発見された。

なお、三陸沿岸道路建設事業に伴い発掘調査が行われた遺跡で、後期に属する堅穴住居跡が検出された遺跡は、上のマッカ遺跡（43）、西平内Ⅰ遺跡（185）、南川尻遺跡（194）、サンニヤⅠ遺跡（195）、北鹿糠遺跡（196）、鹿糠浜Ⅱ遺跡（197）、小田ノ沢Ⅰ遺跡（200）、南鹿糠Ⅰ遺跡（206）、板橋Ⅱ遺跡（221）があり、南川尻遺跡は後葉、それ以外は前葉のものである。

晩期の遺跡として、たけの子遺跡（21）、大平遺跡（32）、ニサクドウ遺跡（58）、戸類家遺跡（61）、田ノ沢遺跡（63）などがある。特にたけの子遺跡は町内で晩期を代表する遺跡である。昭和36年度、岩手県遺跡台帳作成調査において、太平洋戦争中、開墾の際には多数の土器が出土していたが、その後植林されており包含層は良好で、重要な遺跡であるとの報告がある。洋野町立種市歴史民俗資料館収蔵の考古資料の多くはこの遺跡からの出土である。戸類家遺跡は昭和32年（1957）に慶應義塾大学江坂輝彌氏による発掘調査が行われており、土器、石器の他に土偶が出土し、現在、慶應義塾大学考古学研究室に収蔵されている。また、昭和7年（1932）には岩手県史跡名勝天然記念物調査会委員であった小田島禄郎氏が旧種市町を訪れており、その時に採集された田ノ沢遺跡、八木貝塚の出土遺物が岩手県立博物館に収蔵されている。

なお、貝塚遺跡としてホックリ貝塚（33）、八木貝塚（37）、小子内貝塚（40）、黒マッカ貝塚（41）がある。ホックリ貝塚からは当時、岩手県で初めて縄文時代の製塙土器が出土しており、久慈市の大芦Ⅰ遺跡で平成9年（1997）に発見されるまで、製塙土器が発見された県内唯一の遺跡であった。海岸付近に位置する同貝塚は、昭和24年（1949）に行われた造船所の建設工事によりほぼ壊滅したとみられるが、製塙遺跡であった可能性がある。洋野町の玉沢重作氏により製塙土器が発見され、その後、岡山大学近藤義郎氏が、昭和35年（1960）同遺跡を調査し、土器の検討を行っている。このほか縄文時代の製塙土器は、ゴッソー遺跡の平成12年度（2000）岩手県埋蔵文化財センターによる本発掘調査でコンテナ1箱分出土している。洋野町立種市歴史民俗資料館には、たけの子遺跡で採集された縄文時代の製塙土器片が多数収蔵されている。また、平成16年度の種市町内遺跡詳細分布調査において、南平内Ⅰ遺跡（182）より製塙土器片が縄文晩期の土器とともに発見された。同遺跡は現在の汀線まで約150mの距離であるが、時代によっては汀線付近であった可能性もある。遺跡の残存状況も良くないため詳細は不明であるが、位置から推測すると製塙を行った遺跡であることも考えられる。

弥生時代の遺跡として、大平遺跡（32）、大宮Ⅱ遺跡（47）、大宮Ⅰ遺跡（48）、平内Ⅱ遺跡（65）、上水沢Ⅱ遺跡（92）などがある。先述した平内Ⅱ遺跡では、平成25年度の調査で弥生時代前期後葉の堅穴住居跡が2軒検出されている。上水沢Ⅱ遺跡では弥生時代後期の堅穴住居跡が1軒検出され、土器がコンテナ約1箱分出土している。なお、西平内Ⅰ遺跡では、沈線間に交互刺突文を有する弥生時代後期の土器片が出土している。

古墳時代の遺跡については、三陸沿岸道路建設に伴う南鹿糠Ⅰ遺跡（206）の発掘調査において、7世紀の堅穴住居跡が検出されている。

また、袖山遺跡（38）においては、剣形の石製模造品が表面採集されている。同品も玉沢重作氏により発見されたもので、長さ4.2cm、最大幅1.5cm、厚さは最大で4mm、重さは3.6g、石材は北上山地が産出地の蛇紋岩で、色調は暗緑灰色である。茎の表現が簡略化された二等辺三角形に三角形を付加した形状で、全体が丁寧に研磨されて、頭部には垂下孔とみられる径2mmの穿孔があり、表面は鏽が表現されている。形状から5世紀後葉より古い可能性がある。袖山遺跡は標高約50mの海岸段丘上に立地し、現状は山林などで、主な時代は縄文時代であるが、石製模造品の他には当該期の遺物は発見されていない。昭和28年（1953）に東北大学伊東信雄氏が東北地方の石製模造品の集成を発表した「東北地方に於ける石製模造品の分布とその意義」により同品が紹介され知

られるようになった。この石製模造品も、昭和 58 年（1983）に一戸町馬場平遺跡から発見されるまで、県内唯一のものであった。

奈良・平安時代の遺跡として、城内遺跡（11）、ニサクドウ遺跡（58）、二十一平遺跡（69）、八森遺跡（73）、鹿鳴浜 II 遺跡（197）、サンニヤ II 遺跡（205）、館野遺跡（207）などがある。サンニヤ II 遺跡では、三陸沿岸道路事業に伴い平成 26 年度・27 年度の岩手県教育委員会による発掘調査で、8 世紀後半から 9 世紀前半の時期の堅穴住居跡が 3 軒検出されている。また、国道 45 号線種市登坂車線整備事業に伴い、岩手県埋蔵文化財センターにより平成 28 年度（2016）に調査が行われた八森遺跡でも 8 世紀代の堅穴住居跡が 1 軒検出されている。城内遺跡からは 8 世紀代と考えられる土師器の長胴壺、球胴壺、瓶、土師器環が出土している。また、草間氏の『種市の歴史（原始一中世）種市町諸遺跡の調査報告』によるとニサクドウ遺跡で土製支脚、土師器環が出土している。

なお、三陸沿岸道路建設に伴う上のマッカ遺跡の発掘調査において、土師器と製塙土器を伴う堅穴建物跡が検出されている。また、床面からは 2 基の炉跡が検出されており、土師器の年代から 10 世紀後半～11 世紀の製塙工房とみられる。

平安時代の製塙土器は、二十一平遺跡でも出土している。同遺跡は岩手県と青森県境を流れる二十一川の南側の汀線付近に位置する。海岸整地に伴う重機の掘削により遺跡の存在が明らかになり、平成 15 年度（2003）に新規登録された。製塙土器片、土製支脚片が多く散布し、被熱したような円窓もみられた。現在までにコンテナで約 5 箱分が採集されている。遺跡の立地、発見された遺物の状況から製塙を行った可能性が高いが、保存状況は重機の掘削により一部破壊されていると考えられる。また、未登録の遺跡ではあるが、駒木野智寛氏、相原淳一氏による古津波堆積層の調査に伴い海岸付近で採集された製塙土器もある。なお、古代の製塙土器は海岸から 6.2km の館野遺跡でも採集されており、町内には绳文時代や古代の製塙土器、土製支脚を伴う遺跡が多く所在することが予想され、製塙遺跡の発見や製塙土器の資料の増加が見込まれる。

主な中世の遺跡として、城館跡が 27 遺跡登録されている。城館の分布調査が昭和 59 年（1984）に岩手県教育委員会により行われているが、ほとんどが城主などの詳細が不明である。

種市の城内地区には種市民の居城である種市城跡が所在する。種市民は中世～近世初期に当地方を領有していた三戸南部氏（後の盛岡南部氏）の家臣である。「南部藩参考諸家系図」（以後系図）によれば、種市中務（実名不詳）が三戸南部氏 24 代晴政から種市村、蛇口村（軽米町）ならびに傍村賜り種市村に居住したとある。およそ 16 世紀半ば頃と推測されるが、それ以前のこととは不明である。「奥南田指録」には、三戸南部氏 25 代晴繼の股肱の臣として中務が久慈備前らと名を連ねており、三戸南部氏の有力家臣であったとみられる。系図によると、種市中務の長男光徳は同じく中務と称した。光徳は三戸南部氏 26 代信直（初代盛岡藩主）から種市村ならびに傍村に 600 石を賜ったとある。「聞老遺事」によると、天正 19 年（1591）九戸政実の乱の際、信直方に属し 18 人の部下と鉄砲三挺、弓三張で参陣している。また、2 代盛岡藩主利直の時に起きた慶長 5 年（1600）の岩崎合戦では、部下 18 人と参陣している。なお、系図には光徳の妻は根城南部氏（後の遠野南部氏）18 代八戸政栄の弟新田政盛の娘であることが記されている。

その後光徳の長男孫三郎が家督を継いだ。「聞老遺事」によれば大坂夏の陣に出陣している。光徳と孫三郎父子は、初代盛岡藩主信直、2 代盛岡藩主利直父子に仕え活躍した家臣であったが、孫三郎は 3 代盛岡藩主重直の時、罪ありということで禄を没収され、慶安 2 年（1649）に没している。

光徳の次男吉広は系図によれば、天正 15 年（1587）に初代盛岡藩主信直から閉伊口村（久慈市）を賜り住んでいたが、天正 17 年（1589）に蛇口村に替地を賜り、蛇口氏に姓を変えている。

岩手県遺跡台帳には、平時居住していた平城の種市城跡（16）と非常に立てこもったとされる山城の種市城跡（17）が登録されている。平城の種市城跡は JR 八戸線種市駅より西へ約 9km に所在し、平城跡は現在でも馬

場屋敷、的場、神楽屋敷など当時の名残と思われる地名が存在する。そこから南西へ約1kmに山城の種市城跡が位置する。

天正18年（1590）、豊臣秀吉の朱印状により初代盛岡藩主信直が「南部内七郡」を安堵されると、八戸・九戸地方一帯は信直が直接支配することとなり、寛永4年（1627）に根城南部氏が伊達氏に対する備えを理由に遠野へ転封されると盛岡藩の直轄地になった。八戸には八戸城代が配置され、さらに八戸地方には八戸守官、九戸郡には久慈代官を派遣し支配にあたったようである。

寛文4年（1664）9月、3代盛岡藩主重直が跡継ぎを決めないままに死去した。同年11月、幕府は重直の次弟の重信と末弟の直房を呼び、盛岡藩10万石のうち8万石を重信に相続させ、残り2万石を直房に与え、新規に一藩をおこさせる処置を取った。寛文5年（1665）2月、盛岡藩より領地の配分が行われ、八戸を居城とし、三戸郡41箇村、九戸郡38箇村、志和郡4箇村、都合83箇村が付与された。八戸藩は、各村の支配のため通制という行政区画を用い、三戸郡には八戸廻・名久井通・長苗代通、九戸郡には輕米通・久慈通、志和郡には志和の行政区を設定し、各通には代官所を配置した。種市は八戸廻、大野は久慈通に属していた。

八戸藩の主な産業は、商業、林業、漁業、製塩業、鉄産業、造船業などがあり、特に製鉄業は原料である砂鉄と燃料の薪炭材が豊富であったため盛んに行われた。製鉄に関する史料は八戸藩の藩庁の日記である『目付所日記』、『勘定所日記』、民間の史料では『晴山家文書』、『濵沢家文書』、『西町屋（石橋）文書』などがあり、様相を知ることができる。

製鉄の中心地は大野で、鉄山会所として日払所がおかれて、鉄山支配人が詰めて生産方を指揮した。天保9年（1838）には、大野の鉄山として玉川山、金取山、葛柄山、水沢山、大谷山、川井山、澁山の七山があった。『晴山家文書』の天保8年（1837）『寛政年中より拾書』は鉄山支配人の経緯が記されているが、晴山文史館から安永7年（1778）に初代晴山吉三郎へ受け継がれ、その後数人の支配人を経て、享和2年（1802）からは飛驒の浜谷（屋）茂八郎が引き継いだ。文政6年（1823）には、鉄山は藩営となり、石橋徳右衛門が支配人に就任して、その下支配人に二代目晴山吉三郎が就いた。さらに天保5年（1834）の百姓一揆後は、輕米の濱沢円右衛門が支配人に命じられ、天保9年からは江戸の美濃屋宗（慧）三郎（家臣名金子丈右衛門）へと移った経過が記されている。

近世の遺跡として町指定史跡の有家台場（46）がある。『目付所日記』によると、八戸藩では幕府から異国船警戒の命を受けて、寛政3年（1791）に鉄砲堅・目付御用掛を任命し、異国船の警戒に当たらせたようである。寛政5年（1793）の中里覚右衛門書き上げの「堅場」には「大堅」として蚊村、麦生、「小堅」として八太郎浦、湊浦、小船渡浦、有家浦、中野浦の名があげられている。藩の日記などには異国船の出没記録がいくつかあるが、目付所日記によると文政8年（1825）有家浦の沖合15里に異国船一隻が近寄り、伝馬船二隻を出して上陸の様子をみせたので、弓・鉄砲衆など計34人の藩士が同日に派遣されたことが記されている。その後、安政元年（1854）八太郎・湊場尻・館鼻・塩越・鮫・小船渡・有家・久慈湊に台場が築かれ、有家にも陣屋堅の役人が任命された。有家台場の現況は、八戸線の建設工事などで大部分が破壊されているものの、盛土遺構の一部が残存している。

当町の特徴を示す製鉄関連の遺跡は、21箇所（旧種市町16箇所、旧大野村5箇所）登録されている。先述した七山の一つである大谷鉄山（26）は大谷地区にあり、鉄山操業により形成された集落とみられ、製鉄に関わった人々の子孫が多く居住している。製鉄関連の遺跡調査については、岩手県教育委員会の製鉄関連遺跡の詳細分布調査において、旧種市町5箇所、旧大野村35箇所の遺跡の所在を確認している。また、元野田村教育長、田村栄一郎氏によるたたら遺跡の踏査によると、旧種市町は鉄山路12箇所の他、密銭場跡や鍛冶場跡など15箇所、旧大野村については製鉄関連の遺跡42箇所と鍛冶場跡を調査した結果の報告（1987『みちのくの砂鉄いまいずこ』）がある。鉄滓が採集される遺跡が少なくとも60箇所以上にのぼり、未発見のものも含めると相当数に

なると考えられる。

なお、三陸沿岸道路建設事業に伴う発掘調査において南八木遺跡（201）で古代～中世の製鉄関連の遺跡が発見された。少なからず近世以前のものも所在することが予想されるが、岩手県内製鉄関連遺跡調査事業に伴い当町を踏査した佐々木清文氏によるとほとんどが近世のもので、それ以前のものは所在しても少數であろうとのご教示をいただいている。今後製鉄関連の詳細な町内全域の分布調査を行い、製鉄関連遺跡分布図の作成、遺跡の登録作業が必要である。

製鉄以外の金・銀・銅・鉛鉱山のいわゆる非鉄鉱業については、八戸藩の日記類に僅かにみられるが、盛岡藩領に比べ八戸藩領内には大きな金山ではなく、小規模な金山がいくつかあるのみとみられる。「梅内家文書」の慶安2年の「砂金採取運上金請取状」によると、沢尻、雪畠、小手沢、野そうけ山に金山があったことが記されている。岩手県遺跡台帳には金山跡として、小手野沢金山（14）、ノソウケ金山（23）の2遺跡が登録されている。

＜引用・参考文献＞

- 伊東信雄 1953「東北地方に於ける石製模造品の分布とその意義」「歴史第6輯」東北史学会
草間俊一 1963『種市の歴史（原始～中世）種市町諸遺跡の調査報告』種市町役場
角川書店 1985『角川 日本地名大辞典3 岩手県』
岩手県教育委員会 1986『岩手県中世城館分布調査報告書』岩手県文化財調査報告書第82集
田村栄一郎 1987『みちのくの砂鉄いまいすこ』
(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
1996『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第238集
岩手県教育委員会 1998『岩手の貝塚』岩手県文化財調査報告書第102集
(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
2001『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第357集
岩手県久慈地方振興局久慈農村整備事務所・(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
2002『上水沢II遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第391集
岩手県種市町教育委員会 2004『平内II遺跡発掘調査報告書』種市町埋蔵文化財調査報告書第1集
岩手県種市町教育委員会 2005『種市町内遺跡詳細分布調査報告書I』種市町埋蔵文化財調査報告書第2集
岩手県教育委員会 2006『岩手の製鉄遺跡』岩手県文化財調査報告書第122集
洋野町 2006『大野村誌第二巻史料編1』大野村誌編さん委員会
洋野町 2006『種市町史第六巻通史編（上）』種市町史編さん委員会
岩手県洋野町教育委員会 2013『平内II遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第1集
岩手県洋野町教育委員会 2015『平内II遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第2集
(公財) 岩手県文化振興事業団 2015『平成26年度発掘調査報告書 南川尻遺跡 下向遺跡 沼袋II遺跡 沼袋III遺跡 八幡沖遺跡 ほか調査概報（39遺跡）』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第647集
岩手県教育委員会 2016『岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成26年度復興関係）』岩手県文化財調査報告書第146集
(公財) 岩手県文化振興事業団 2016『平成27年度発掘調査報告書 サンニヤ遺跡 房の沢IV遺跡 白石遺跡 ほか調査概報（33遺跡）』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第661集
岩手県洋野町教育委員会 2017『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第3集
岩手県教育委員会 2017『岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成27年度復興関係）』岩手県文化財調査報告書第149集

国土交通省東北地方整備局三陸国事務所・(公財)岩手県文化振興事業団

2017『西平内 I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 673 集
(公財) 岩手県文化振興事業団 2017『平成 28 年度発掘調査報告書 岩洞湖 I 遺跡・柳洞IV 遺跡・八森遺跡

ほか調査概報 (28 遺跡)』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 676 集
岩手県教育委員会 2018『岩手県内遺跡発掘調査報告書 (平成 28 年度復興関係)』岩手県文化財調査報告書第 152 集
国土交通省東北地方整備局三陸国事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2018『北鹿陳遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 686 集
国土交通省東北地方整備局三陸国事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2018『サンニヤ I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 687 集
(公財) 岩手県文化振興事業団 2018『平成 29 年度発掘調査報告書 岩洞湖 I・H 遺跡 和野新里神社遺跡

北野XII 遺跡 木戸場遺跡 中野城内遺跡 沿里遺跡 根井沢穴田IV 遺跡 耳取 I 遺跡 千坂城遺跡
ほか調査概報 (23 遺跡)』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 692 集
国土交通省東北地方整備局三陸国事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『南鹿陳 I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 697 集
国土交通省東北地方整備局三陸国事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『上のマッカ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 698 集
国土交通省東北地方整備局三陸国事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『小田ノ沢遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 699 集
国土交通省東北地方整備局三陸国事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『鹿鰐浜 II 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 702 集
国土交通省東北地方整備局三陸国事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『南八木遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 703 集
岩手県洋野町教育委員会 2019『西平内 I 遺跡ハンドボーリング調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第 4 集
岩手県洋野町教育委員会 2019『続石遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第 6 集

久慈広域連合・岩手県洋野町教育委員会 2020『下沢遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第 8 集
岩手県洋野町教育委員会 2020『西平内 I 遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第 9 集



第2図 町内遺跡分布図

第1表 町内の遺跡一覧（1）

No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺跡・遺物	所在地	調査対象	備考
1	[IPZ-1306] 丸浜	えみがひな	散在地	绳文	绳文土器	横山地区	縄文遺跡（平成23年）	文部
2	[IPZ-2306] 丘原1	かどりのひさ	散在地	绳文・古代	縄文土器（手・削・鉋形）、研石伝器、磨石器、土器等	横山地区	縄文遺跡（手・削・鉋形）、縄文土器（手・削・鉋形）	令和4 令和25年度
3	[IPZ-1306] 丸山1	でんきなさいち	散在地	绳文	绳文土器（手・削・鉋形）、研石、土器等	横山地区	縄文遺跡（手・削・鉋形）	令和4 令和25年度
4	[IPZ-2303] 千利平	かどりかわい	散在地	绳文	绳文土器（手・削・鉋形）、石器、扇形	横山地区	縄文土器（手・削・鉋形）	令和4 令和23年度
5	[IPZ-0705] 千利1	せんじかわい	散在地	绳文	绳文土器（手・削・鉋形）、石器、削片	横山地区	千利遺跡（手・削・鉋形）	令和23年度
6	[IPZ-1206] 相田	ひらなみひな	城跡	中世	城跡（城壁）	横山地区	相田城跡（城壁）	令和23年度
7	[IPZ-0705] 岡子	よこ	散在地	绳文・古代	绳文土器（城壁）、土器等	横山地区	岡子遺跡（城壁）	令和23年度
8	[IPZ-0205] トモの木	ともの木	散在地	绳文	绳文土器（城壁・陶器）	横山地区	トモの木遺跡（城壁）	令和23年度
9	[IPZ-0303] 赤色	あらまき	散在地	绳文	绳文土器（小窓）、赤土等	横山地区	赤色遺跡（小窓）	令和13年度
10	[IPZ-0205] /櫛突柱（人骨発見箇所）	はしまさとうだいで	城跡	中世	茅張、廻廊	横山地区	人骨よりセイヨウ人骨変更（令和13年度）	
11	[IPZ-0206] 池内	じこうない	城跡	绳文・古代	土器・瓦器・土器等	横山地区	池内城跡（土器・瓦器）	
12	[IPZ-0229] 風船（船内周）	あらわらわだい	城跡	中世	鐵錐（鐵錐）	横山地区	風船遺跡（鐵錐）	
13	[IPZ-0205] 前船	たてのひだり	城跡	中世	茅張、廻廊、窑穴	横山地区	前船遺跡（茅張）	
14	[IPZ-0200] 小舟（舟室）	こでのふれきあざみ	舟室跡	古墳	石列	横山地区	小舟（舟室）よりセイヨウ人骨変更（令和13年度）	
15	[IPZ-0307] 上船	とばしだけ	城跡	中世	茅張、竹筒形	横山地区	上船遺跡（茅張）	
16	[IPZ-0202] 橋場（手掘）	たれかしらう	城跡	中世	茅張	横山地区	橋場遺跡（茅張）	
17	[IPZ-0203] 橋場（手掘）	たれかしらう	城跡	中世	茅張、平地	横山地区	橋場遺跡（茅張）	
18	[IPZ-0300] 小舟（舟室）	こでのふれき	舟室跡	中世	茅張、廻廊	横山地区	小舟（舟室）	
19	[IPZ-0409] 亂闘場	いたげしただ	城跡	中世	茅張、廻廊	横山地区	乱闘場遺跡（茅張）	
20	[IPZ-0304] ブリード	こうそー	散在地	绳文	茅張、竹筒	横山地区	茅張散在地（茅張・竹筒）	令和6年度・12年度 江戸時代本堂遺跡
21	[IPZ-1006] たのひ	たのひのこ	散在地	绳文	绳文土器（手・鉋形）、削盤土器	横山地区	たのひのこ遺跡（手・鉋形）	令和10 令和10年度
22	[IPZ-1205] 丸山	おおくぼ	散在地	绳文	绳文土器（手・鉋形）、石器、土器等	横山地区	丸山遺跡（手・鉋形）	
23	[IPZ-0306] ノウケ塚	のそいわらわんざん	砂防施設	近世	石垣	横山地区	ノウケ塚砂防施設（石垣）	
24	[IPZ-0300] 小牛原（チカラコ）	こひよひだで	城跡	绳文・古代	绳文土器（手・鉋形）、研石、土器等	横山地区	小牛原遺跡（手・鉋形）	
25	[IPZ-1313] 村落	わざひだ	城跡	中世	茅張、廻廊、平地	横山地区	わざひだ城跡（茅張）	昭和59年度
26	[IPZ-0300] 人骨山	おおやせつざん	散在地	近世	土器	横山地区	人骨山遺跡（土器）	令和23年度
27	[IPZ-0304] 四船1	にしおひだい	散在地	绳文	绳文土器（城壁）、石器	横山地区	四船1遺跡（城壁）	名古屋市（令和23年度）

第1表 町内の遺跡一覧 (2)

No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺跡・遺物	所在地	調査記述	備考	文獻
28	[IP94]IS7 宿場	えみがひな しめくびのひだて	城跡	中世	堤防、施設、平場	標高約2m地盤	昭和59年度調査		
29	[IP94]IS3 西宿	にしひのひだて	城跡	中世	土塁、施設、平場	標高約2m地盤	昭和59年度調査		
30	[IP94]IS9 西宿II	にしひのひだてに	貯蔵施設	中世	磯文土器(鉢形)、石器、土器	標高約2m地盤	昭和59年度調査	名稱変更(令和元年変)	
31	[IP94]IS4 上宿	かみがひな おおひのひだて	貯蔵施設	中世	磯文土器(鉢形)	標高約2m地盤	標高約2m地盤		
32	[IP94]IS6 大平	おおひのひだて	施設	古代	磯文土器(盆・鉢形)、赤土器	標高約3m地盤	標高約3m地盤	昭和59年度(令和元年変)	
33	[IP94]IS8 小クリ山裏	はづくひのひだて	土塁	古代	磯文土器(盆・鉢形)、赤土器、セラミック	標高約2m地盤	標高約2m地盤	昭和59年度(令和元年変)	
34	[IP75]IS6 黒崎山	くろさきひのひだて	施設施設	古墳	瓦器	標高約2m地盤	標高約2m地盤		
35	[IP75]IS2 黒崎山II	くろさきひのひだてつぐみ	施設施設	古墳	瓦器	標高約2.7m地盤	標高約2.7m地盤		
36	[IP79]IS25 小野の丸山	こののまるひのひだて	施設施設	古墳	瓦器	標高約1.8m地盤	標高約1.8m地盤		
37	[IP79]IS5 八木村裏	やぎむらひのひだて	土塁	古墳	磯文土器(鉢形)、椎内	標高約1.8m地盤	標高約1.8m地盤		
38	[IP79]IS7 袖山	そでやま	施設施設	古墳	磯文土器(盆・鉢形)、小輪陶器品(手取時代)	標高約1.8m地盤	標高約1.8m地盤		
39	[IP79]IS6 長谷I	ながたに	施設施設	古墳	磯文土器(盆・鉢形)	小字片山1地盤	小字片山1地盤	名稱変更(令和元年変)	
40	[IP79]IS6 小竹田裏	おこなひのひだて	土塁	古墳	施設施設、瓦器、火薬袋、イシダチ	小字竹田1地盤	小字竹田1地盤		
41	[IP79]IS4 黒ツカ今裏	くろつかいまひのひだて	土塁	古墳	磯文土器(鉢形)、石器、土器	有字赤2地盤	有字赤2地盤		
42	[IP94]IS8 向日丘	むかひのひだり	施設施設	古墳	磯文土器(鉢形)、石器	有字赤3地盤	有字赤3地盤		
43	[IP94]IS6 上川ヶ谷	うえのまがや	施設施設	古墳	瓦穴、瓦器、瓦器、瓦器、瓦器、瓦器	平成27年度・29年度 本町地区(令和23年度)	本町地区(令和23年度)	◆22	
44	[IP94]IS3 有里裏	うりひのひだて	城跡	中世	施設施設	有字赤5地盤	有字赤5地盤	昭和59年度調査	昭和59年度(令和23年度)
45	[IP94]IS13 芦原裏山	あしはらひらひだて	施設施設	古墳	瓦器	小字芦原1地盤	有字赤2地盤		
46	[IP94]IS6 有方地	うけだひのひだて	施設施設	古墳	瓦器	有字赤3地盤	有字赤3地盤		
47	[IP85]IS6 大里Ⅱ	おおとみひのひだて	施設施設	古墳	磯文土器(鉢形)、赤土器	小字大里2地盤	小字大里2地盤		
48	[IP85]IS6 大里I	おおとみひのひだて	施設施設	古墳	磯文土器(盆・鉢形)、石器、灰土器	小字大里2地盤	小字大里2地盤		
49	[IP85]IS6 大里屋	おおとみや	施設施設	古墳	磯文土器(鉢形)	小字大里4地盤	小字大里4地盤		
50	[IP86]IS6 中前(施設・施設前)	なかまへひのひだて	城跡	中世	施設施設	小字中前11地盤	小字中前11地盤	昭和59年度調査	昭和59年度(令和23年度)
51	[IP86]IS6 前施設	まへせきひのひだて	施設施設	古墳	瓦器	小字中前7地盤	小字中前7地盤		
52	[IP86]IS6 通穴	みじまくさわ	施設施設	古墳	磯文土器(盆・鉢形)、石器	小字中前7地盤	小字中前7地盤		
53	[IP86]IS2 アメス森	あいのねもり	施設施設	古代	磯文土器(盆・鉢形)、鐵文地鐵瓶、火生土器	標高約20m地盤	標高約20m地盤	浜瀬海岸六名石・御田海岸(令和23年度)	◆4
54	久々音	—	—	—	—	—	—	北ノ云敷(令和23年度)	
55	[IP86]IS6 平山里	ひらやまなさん	施設施設	古墳	磯文土器(小鉢)、石器	標高約34m地盤	標高約34m地盤	浜瀬海岸(令和23年度)	◆4

第1表 町内の遺跡一覧（3）

No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺跡・遺物	所在地	調査時期	調査者
56	IPF84-025	石室	古墳	绳文・古代	绳文土器(破片)、扇形、陶器、土器等	猪出町安堵	昭和26年(平成23年復)	市 4
57	IPF84-023	圓窓	古墳	绳文	石器	猪出町30号地		
58	IPF84-036	二重テラス	古墳	绳文・古代	绳文土器(破片)、土器等	猪出町63号地		
59	IPF7-023	高台 I	古墳	绳文	绳文土器	猪出町21号地		
60	IPF7-027	高台 II	古墳	绳文	绳文土器(手・鉈形)	猪出町21号地		
61	IPF84-042	円錐形	古墳	绳文	绳文土器(破片)、土器	猪出町11号地		
62	IPF84-013	円錐形	古墳	绳文	绳文土器	猪出町6号地		
63	IPF84-037	円錐形	古墳	绳文	绳文土器(破片)	猪出町7号地		
64	IPF84-028	円錐形	古墳	绳文	绳文土器	猪出町8号地		
65	IPF84-007	平頂Ⅱ	古墳	绳文・古墳	绳文土器、陶文土器(手・鉈形)、骨・貝殻、石器、石器・灰陶器、残器、瓦片、灰陶器、土器、漆器	猪出町43号地	平成11・13年度、25年 -25年冬本体改修作業	市 3 - 6
66	IPF90-019	人面	古墳	绳文	绳文土器	猪出町8号地		
67	IPF84-109	船	古墳	绳文	绳文土器(手型)	猪出町7号地		
68	IPF84-239	人尻	古墳	绳文	绳文土器	猪出町66号地		
69	IPF84-008	二一一平	古墳	绳文	绳文土器、土器文等、土器等	猪出町41号地	平成13年度新発見	昭和26年(平成23年復)
70	IPF84-046	平頂 I	古墳	绳文	绳文土器(手型)	猪出町13号地		
71	IPF84-008	平頂Ⅱ	古墳	绳文	绳文土器(破片)	猪出町14号地		
72	IPF84-136	人面 I	古墳	绳文	绳文土器	猪出町7号地		
73	IPF84-014	人面	古墳	绳文	绳文・奈良	猪出町3号地		
74	IPF84-018	平頂Ⅱ	古墳	绳文	绳文土器	猪出町20号地		
75	IPF84-017	向田	古墳	绳文	绳文土器(手型)、石器	大野谷23号地		
76	IPF84-014	円頂 I	古墳	绳文	绳文土器(手型)、石器	大野谷20号地		
77	IPF84-002	円頂	古墳	绳文	草原、土器、陶器、平地	大野谷29号地		
78	IPF84-010	東ノ原	古墳	绳文	瓦片	大野谷36号地		
79	IPF7-006	円頂(新興街)	古墳	绳文	瓦片、瓦器	大野谷妙見	昭和26年復	
80	IPF84-285	手掘ぼし井戸	古墳	绳文	瓦片、平地	大野谷35号地	昭和26年復	
81	IPF84-027	たひら前	古墳	绳文	瓦片、瓦器	大野谷13号地	昭和26年復	
82	IPF84-087	長原	古墳	绳文	绳文土器(手・鉈形)、瓦器	大野谷72号地		

第1表 町内の遺跡一覧 (4)

No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地	調査結果	備考	文獻
83	[IPB6-1286] 駐屯施設	えみどりかな えぞもじだて	城郭跡	中世	掘溝、施設、平場	大野町立地図 昭和59年度測量			
84	[IPB6-2208] 織田守II	えこぎとさだむ	住居跡	绳文	石器、便	大野町立地図 昭和59年度測量			
85	[IPB6-2209] 織田守I	えこぎとさだむ	住居跡	绳文	石器、便	大野町立地図 昭和59年度測量			
86	[IPB6-2216] 人頭塚	はづのだて	城郭跡	小世	平場	大野町立地図 昭和59年度測量			
87	[IPB6-2212] ひとめつこ	ひとめつこだて	城郭跡	小世	等高、施設、平場、空穴	大野町立地図 昭和59年度測量			
88	[IPB6-2235] 金沢	かねざわ	住居跡	绳文	绳文土器(須恵器)	大野町立地図 昭和59年度測量			
89	[IPB6-2290] 河内駄	かねざわ	城郭跡	小世	等高、施設、空穴	河内木集落	昭和59年度測量		
90	[IPB6-2268] 高見	たかみ	住居跡	绳文	绳文土器	大野町立地図 昭和59年度測量			
91	[IPB6-2065] 上原I	かみみさわせらむ	住居跡	绳文	绳文土器	大野町立地図 昭和59年度測量			
92	[IPB6-2088] 上原II	かみみさわせらむ	住居跡	绳文	绳文土器	大野町立地図 昭和59年度測量			
93	[IPB6-2196] 上原III	かみみさわせらむ	住居跡	绳文	绳文土器	大野町立地図 昭和59年度測量			
94	[IPB6-2250] 高見I	たかみいわい	住居跡	绳文	绳文土器	大野町立地図 昭和59年度測量			
95	[IPB6-2272] 上原IV	かみみさわせらむ	住居跡	绳文	绳文土器	大野町立地図 昭和59年度測量			
96	[IPB6-2275] 上原V (廻転柱)	かみみさわせらむ	城郭跡	小世	等高	大野町立地図 昭和59年度測量			
97	[IPB6-2288] 下原I	しもみさわせらむ	住居跡	绳文	绳文土器	大野町立地図 昭和59年度測量			
98	[IPB6-2294] 上原VI	しもみさわせらむ	住居跡	绳文	绳文土器	大野町立地図 昭和59年度測量			
99	[IPB6-2062] 通行	つうゆう	住居跡	绳文	绳文土器	大野町立地図 昭和59年度測量			
100	[IPB6-2129] 11月I	ひなたに	住居跡	古代	土壙壁	大野町立地図 昭和59年度測量			
101	[IPB6-2196] 下原I	しもだいたい	住居跡	绳文	绳文土器	大野町立地図 昭和59年度測量			
102	[IPB6-2221] 11月II	ひなたに	住居跡	绳文	绳文土器	河内木集落	昭和59年度測量		
103	[IPB6-2225] 河内木	あこぎ	住居跡	绳文	绳文土器	河内木集落	昭和59年度測量		
104	[IPB6-1108] 下鳥II	しもとりいしまに	住居跡	绳文	绳文土器	河内木集落	昭和59年度測量		
105	[IPB6-1106] 駐屯施設I	えぞもじだい	城郭跡	中世	平場、施設	河内木集落	昭和59年度測量		
106	[IPB6-1996] 下鳥I	かみどいたい	住居跡	绳文	绳文土器	河内木集落	昭和59年度測量		
107	[IPB6-2225] 二ノ坂	みだりや	住居跡	绳文	绳文土器	河内木集落	昭和59年度測量		
108	[IPB6-2254] 下鳥III	しもどいたい	住居跡	古代	土壙壁	河内木集落	昭和59年度測量		
109	[IPB6-2272] 下鳥IV	しもどいたい	住居跡	绳文	绳文土器	河内木集落	昭和59年度測量		

第1表 町内の遺跡一覧 (5)

No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺跡・遺物	所在地	調査結果	備考	文獻
110	[J]F98-3725 一二三塚内	二三塚内	散在地	绳文	绳文土器	河川木場12地蔵			
111	[J]F98-396 長崎Ⅰ	トトロ谷6号墳	散在地	绳文	绳文土器	河川木場12地蔵			
112	[J]F98-369 高瀬川	たかせ川	散在地	绳文	绳文土器	河川木場4地蔵			
113	[J]F98-372 人野原	ひとのほら	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
114	[J]F98-383 大瀬V(高瀬川)	おおせ5	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
115	[J]F98-311 船形塚	ふながたづか	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
116	[J]F98-312 黒川1	くろかわ1	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
117	[J]F98-327 黒川1	くろかわ1	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
118	[J]F98-346 上鳥羽II	かみとば2	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
119	[J]F98-394 上鳥羽III	かみとば3	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
120	[J]F98-321 上鳥羽IV	かみとば4	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
121	[J]F98-269 浜川1	はまかわ1	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
122	[J]F98-287 浜川2	はまかわ2	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
123	[J]F98-296 浜川3	はまかわ3	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
124	[J]F98-320 浜川V	はまかわ5	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
125	[J]F98-326 浜川VI	はまかわ6	散在地	绳文	绳文土器	河川木場1地蔵			
126	[J]F98-318 浜川II	はまかわ2	散在地	绳文	绳文土器(鉄器)、鐵	河川木場12地蔵			
127	[J]F98-322 浜川III	はまかわ3	散在地	绳文	绳文土器	河川木場12地蔵			
128	[J]F98-323 浜川IV	はまかわ4	散在地	绳文	绳文土器	河川木場12地蔵			
129	[J]F98-325 浜川V	はまかわ5	散在地	绳文	绳文土器	河川木場12地蔵			
130	[J]F98-327 浜川X	はまかわ10	散在地	绳文	绳文土器	河川木場12地蔵			
131	[J]F98-323 浜川X 1	はまかわ11	散在地	绳文	绳文土器	河川木場12地蔵			
132	[J]F98-380 浜川X II	はまかわ12	散在地	绳文	绳文土器	河川木場12地蔵			
133	[J]F99-022 長崎溝III	おさかわ6号	散在地	石器	石器	河川木場12地蔵			
134	[J]F98-165 長崎溝IV	おさかわ6号A	散在地	绳文	绳文土器	河川木場12地蔵			
135	[J]F98-303 余根Ⅱ	よねね2	散在地	绳文	绳文土器	河川木場12地蔵			
136	[J]F74-316 上河原M	かみこうげん	散在地	绳文	绳文土器(鉄器)	水江谷3地蔵			
137	[J]F74-318 下河原II	しもこうげん	散在地	绳文	绳文土器	水江谷3地蔵			
138	[J]F74-306 全断面I	かみまがり	散在地	古世	織田城1、古世	水江谷12地蔵			

No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地	調査結果	備考	文獻
139	[F]T74027 金剛山II	金剛山II	全埋立坑	弥生・古墳	楕円土器・土器片・瓦・水道瓦	木立町12番地			
140	[F]T74022 大原I		柱立石	古墳		木立町10番地			
141	[F]T74029 大原III	大原III	柱立石	古墳		木立町10番地			
142	[F]T74022 生I	大原I	柱立石	古墳		木立町10番地			
143	[F]T74104 半生II	大原II	柱立石	古墳		木立町12番地			
144	[F]T74003 青垣II	青垣	柱立石	古墳		木立町14番地			
145	[F]T74022 青垣	青垣	柱立石	古墳		木立町13番地			
146	[F]T86002 天祖Ⅲ	おほれなさん	柱立石	古墳		木立町2番地			
147	[F]T86010 希御形原Ⅰ	だいしむかいたいじま	柱立石	古墳		木立町7番地			
148	[F]T86016 希御形原Ⅱ	だいしむかいたいじま	柱立石	古墳		木立町7番地			
149	[F]T86016 希御形原Ⅲ	だいしむかいたいじま	柱立石	古墳		木立町7番地			
150	[F]T84162 天祖	おほれ	柱立石	古墳		木立町11番地			
151	[F]T72307 旗山I	だいながやまいち	柱立石	古墳		旗山町41番地			平成23年度新発見 ④
152	[F]T84104 旗山II	だいながやま	柱立石	古墳		旗山町41番地			平成23年度新発見 ④
153	[F]T86206 月日II	かよひ	柱立石	古墳		旗山町39番地			平成23年度新発見 ④
154	[F]T73435 田場I	たのば	柱立石	古墳		旗山町42番地			平成23年度新発見 ④
155	[F]T73026 田場I	ささはな	柱立石	古墳		旗山町43番地			平成23年度新発見 ④
156	[F]T84053 田場II	ささはな	柱立石	古墳		旗山町43番地			平成23年度新発見 ④
157	[F]T73279 田場	ささはな	柱立石	古墳		旗山町43番地			平成23年度新発見 ④
158	[F]T72206 田場II	ささはな	柱立石	古墳	楕円土器・石斧・石器	旗山町43番地			平成23年度新発見 ④
159	[F]T72302 伝Ⅱ	でんきう	柱立石	古墳	楕円土器・土灰・陶質小火葬器・楕円土器	旗山町43番地	令和元年春新発見組合		平成23年度新発見 ④
160	[F]T74029 伝Ⅲ	でんきう	柱立石	古墳		旗山町43番地			平成23年度新発見 ④
161	[F]T74028 伝Ⅳ	でんきう	柱立石	古墳		旗山町44番地			平成23年度新発見 ④
162	[F]T74026 伝Ⅴ	でんきう	柱立石	古墳		旗山町44番地			平成23年度新発見 ④
163	[F]T74046 北・東I	あだのとまれい	柱立石	古墳		横山町65番地	平成23年度新発見組合		平成25年度新発見 ④
164	[F]T74033 北・東II	あだのとま	柱立石	古墳	楕円土器・土器片	横山町65番地			平成23年度新発見 ④
165	[F]T74026 北・東III	あだのとま	柱立石	古墳	楕円土器・土器片	横山町65番地			平成23年度新発見 ④
166	[F]T74006 北・東IV	あだのとま	柱立石	古墳	楕円土器・土器片	横山町65番地			平成23年度新発見 ④

No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地	調査結果	備考
167	IF-6-0348 北/北V	よみがひな	祭祀遺跡	古期	瓦片	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
168	IF-6-0349 北/北VI	よたのさわらく	祭祀遺跡	古期	瓦片	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
169	IF-6-0350 北/北M	よたのさわらな	祭祀遺跡	古期	瓦片	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
170	IF-6-0359 北/南M	よたのさわらは	祭祀遺跡	古期	瓦片	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
171	IF-6-0359 北/東K	よたのさわらき	祭祀遺跡	古期	瓦片	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
172	IF-6-1328 北/東X	よたのさわらじ	祭祀遺跡	古期	瓦片	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
173	IF-6-2842 北/南L	よたひりないまち	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器、瓦器、櫻器	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
174	IF-6-0327 北/中II	よたひりないじ	祭祀遺跡	櫻文、古代	櫻文瓦器、土器	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
175	IF-6-0327 北/中III	よたひりないきん	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
176	IF-6-0327 北/中IV	よたひりないじん	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器(鉢形)、櫻文	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
177	IF-6-0310 北/東V	よたひりないご	祭祀遺跡	櫻文、余生	櫻文瓦器、余生	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
178	IF-6-0343 北/東VI	よたひりないぐ	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器、瓦器、瓦砾	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
179	IF-6-0326 旗/南I	よまひない	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器(牛・馬頭)、石斧、磨石	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
180	IF-6-0314 平野	ひらひないよん	祭祀遺跡	櫻文、古代	櫻文瓦器(馬頭)、石斧、磨石、土器類、伝世器	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
181	IF-6-0305 平野V	ひらひないご	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器(馬頭)、石斧、磨石	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
182	IF-6-2305 旗/中I	みなんひらひない	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器(馬頭)、櫻文瓦器	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
183	IF-6-119 旗/中II	みなんひらひなじに	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
184	IF-6-128 旗/中III	みなんひらひなじん	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器、瓦器	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
185	IF-6-0301 旗/中I	にしひひないし	祭祀遺跡	櫻文、余生	櫻文瓦器、余生	櫛田地区	平成23年度・27年度 本格調査、平成28年 復元ドクターリング調 査、今和元年復元ドクタ ーリング調査	△8 △12 △18 △29
186	IF-6-0340 旗/中II	にしひひないじ	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器(馬頭)、石器	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
187	IF-6-115 旗/中I	ひがしひらひないじ	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器(牛・馬頭)、傳世器、櫻器、削片	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
188	IF-6-1308 旗/中II	ひがしひらひないじ	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
189	IF-6-0306 旗/中III	ひがしひらひないさん	祭祀遺跡	古期	引口、瓦片	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
190	IF-6-1306 旗/中I	いばきひらい	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器(馬頭)、石斧、石器、瓦片	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4
191	IF-6-1286 旗/中II	いばきひらい	祭祀遺跡	櫻文	櫻文瓦器、石斧、櫻器	櫛田地区	平成23年度新規発見	△4

第1表 町内の遺跡一覧 (8)

No.	遺跡名	通称名	立地	遺 墓	遺 物	時 代	種 别	所 在 地	調査結果	調 査	考
192	[F851305] 船岡	いはざわさん	船形山	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成23年度新規発見	※4	
193	[F851342] 地割	いはざわさん	地割地	散在地	横穴墓	横穴墓	横穴墓	横穴墓	平成23年度新規発見	※4	
194	[F851307] 門田	みなみかわらし	集落地、行楽路	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※14	
195	[F851328] 中ノニヤ I	さんにおひち	集落地、有床跡	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※9	
196	[F851328] 北側	さんのおひち	集落地、行楽路	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※14	
197	[F851345] 唐沢川 II	かみかはまに	集落地、行楽路	横穴墓、空井戸	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※16	
198	[F851395] 前田 I	かみかはまに	集落地	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※15	
199	[F851398] 堀口	しおくわい	集落地	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※17	
200	[F851327] 小田ノ原 I	こだのわい	集落地	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見、名称変更(令和元年実測)	※23	
201	[F7941217] 扇ヶ木	みなみかわ	集落地、有床跡	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※26	
202	[F7941306] 下原 I	しなかのこより	集落地	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見、名称変更(令和元年実測)	※7	
203	[F851323] 中野地内	なかのこより	集落地	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※17	
204	[F851322] 里原	くろさか	集落地	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※8	
205	[F851326] 中ノニヤ II	さんにおひに	集落地、行楽路	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※11	
206	[F851333] 佐野 I	みなみかわい	集落地、有床跡	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※8	
207	[F851375] 佐野	たての	集落地	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※21	
208	[F851303] 佐野 I	あだなおひねい	集落地	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※31	
209	[F851345] 田端 II	たのほたに	集落地	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見	※24	
210	[F851346] 裏津内	あらづない	集落地、今之郷	横穴墓	横穴墓	古	横穴墓	横穴墓	平成25年度新規発見		

第1表 町内の遺跡一覧 (9)

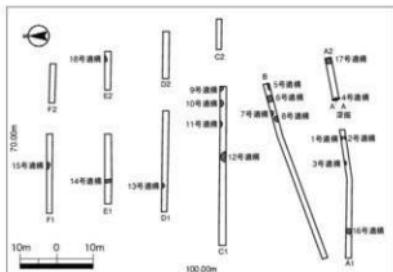
No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺跡・遺物	所在地	調査時期	調査者	文獻
211	[IP86-2355] 東ノ沢 I	えのざわいちら	散在地	縄文	土器、石器	櫛田72地図	平成28年度調査記		
212	[IP86-2312] 墓田田	かめだたまきん	散在地	縄文	廻し穴遺構	櫛田15地図	平成28年度調査記		
213	[IP79-012] 桐石	つづくいし	散在地	縄文、古代	陶器、有茎器	櫛田4地図	令和元年春季調査会	平成28年度調査記、総括報告(令元年春) ● 20	
214	[IP76-265] 新田	しんでん	散在地	縄文	陶器	大野町14地図	平成28年度調査記		
215	[IP76-235] 一柳原 I	いつのわらよつらがはい	散在地	縄文、古代	陶文土器、土器足、筒瓦	大野町15地図	総括調査会刊行物、平成28年度調査記		
216	[IP76-263] 一柳原 II	いつのわらよつらがはい	散在地	縄文	陶器	大野町15地図	総括調査会刊行物、平成28年度調査記		
217	[IP84-172] 飯 I	いのばい	散在地	縄文	陶器	大野町15地図	令和元年春季調査会、名古屋支局(令元年春) ● 14		
218	[IP86-226] 中ニヤマ	ひんにやま	散在地	縄文	陶器	大野町25地図	平成28年度調査記、名古屋支局(令元年春) ● 30		
219	[IP72-245] 長ノ沢 II	ながのさわに	散在地	令和	瓦	大野町17地図	平成28年度調査記		
220	[IP94-025] 丁原	じもと	散在地	縄文	陶器、土器	大野町17地図	令和元年春季調査会	平成28年度調査記、総括報告(令元年春) ● 19	
221	[IP78-024] 新田 II	しんだ	散在地	縄文	陶器	大野町21地図	平成28年度調査記		
222	[IP94-024] 大沢	おおさわ	散在地	縄文	陶器、筒瓦、板瓦、瓦、土器	大野町17地図	令和元年春季調査会	令和元年春季調査会	● 28
223	[IP76-026] 木山 I	みやま	散在地	縄文	陶器	大野町11地図	令和元年春季調査会	令和元年春季調査会	● 27
224	[IP86-026] 木山 II	みやま	散在地	縄文	陶器、筒瓦、土器、不明焼器、鐵々(火吹器)、板瓦、瓦、土器、筒瓦、瓦、土器	大野町11地図	令和元年春季調査会		
225	[IP88-386] 西方原 I	にしきたはら	散在地	縄文	土器、板瓦	大野町10地図	令和元年春季調査会		
226	[IP86-236] 西方原 II	はばに	散在地	縄文	陶器、筒瓦、板瓦、土器	大野町7地図	令和元年春季調査会		
227	[IP76-045] 甫川田	ふかわ	散在地	令和	平塗	大野町11地図	令和元年春季調査会		
228	[IP78-133] 今里ノ沢 I	こりのさわに	散在地	縄文	陶器、土器	櫛田23地図	令和元年春季調査会	令和元年春季調査会	● 27
229	[IP78-129] 佐原田	さわら	散在地	縄文	陶器	櫛田21地図	令和元年春季調査会		
230	[IP78-239] 長崎田	ながさき	散在地	縄文	土器	小谷町7地図	令和元年春季調査会		
231	[IP86-045] 木山 I	みやま	散在地	縄文	陶器	櫛田11地図	令和元年春季調査会		
232	[IP76-296] 北ノ沢 II	きたのさわに	散在地	縄文	土器	櫛田14地図	令和元年春季調査会		
233	[IP86-016] 朝日原	あさひはら	散在地	縄文	土器	櫛田21地図	令和元年春季調査会		

（文献について、それぞれ次のように記した）

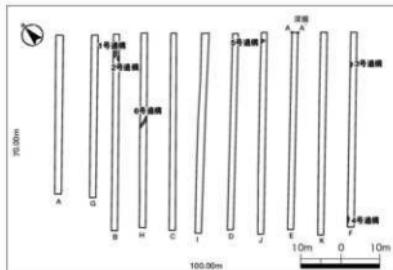
- 「※ 1」 (財) 岩手県文化振興事業団附属文化財セントナー 1996・2001 「ゴッソー道路免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 238 集・第 357 集
- 「※ 2」 岩手県久慈地方支那課局久慈農村整備事務所 (財) 岩手県文化振興事業団附属文化財セントナー 2002 「上水沢Ⅱ道跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 391 集
- 「※ 3」 岩手県橋梁耐震検査委員会 2004 「平成11年内道跡免税調査報告書」 岩手県河津城文化財調査報告書第 1 集
- 「※ 4」 岩手県橋梁耐震検査委員会 2005 「横市町内道路詳細分布調査報告書」 11. 横市町河津城文化財調査報告書第 2 集
- 「※ 5」 岩手県洋野町教育委員会 2013 「平成11年内道跡免税調査報告書」 洋野町河津城文化財調査報告書第 1 集
- 「※ 6」 岩手県洋野町教育委員会 2015 「平成11年内道跡免税調査報告書」 洋野町河津城文化財調査報告書第 2 集
- 「※ 7」 (公財) 岩手県文化振興事業団 2015 「平成 26 年度免税調査報告書」 南川尻遺跡・下向遺跡・沿袋Ⅲ遺跡・八幡冲遺跡・岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 647 集
- 「※ 8」 岩手県教育委員会 平成 28 年 3 月 「岩手県内道跡免税調査報告書」 (平成 26 年度 復興関係) 岩手県文化財調査報告書第 149 集
- 「※ 9」 (公財) 岩手県文化振興事業団 2016 「平成 27 年度免税調査報告書 サニニヤ道跡 房の内IV道跡 白石遺跡」 (かく調査概報 (28 道跡)) 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 661 集
- 「※ 10」 岩手県教育委員会 2017 「ゴッソー道路免税調査報告書」 洋野町河津城文化財調査報告書第 3 集
- 「※ 11」 岩手県教育委員会 2017 「岩手県内道跡免税調査報告書」 (平成 27 年度 復興関係) 岩手県文化財調査報告書第 152 集
- 「※ 12」 国土交通省地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2017 「西平内I道跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 696 集
- 「※ 13」 (公財) 岩手県文化振興事業団 2018 「平成 28 年度免税調査報告書 岩手湖洞 I 遺跡 例野I道跡 八幡沖道跡」 (かく調査概報 (28 道跡)) 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 673 集
- 「※ 14」 岩手県教育委員会 平成 30 年 3 月 「岩手県内道跡免税調査報告書」 (平成 28 年度 復興関係) 岩手県文化財調査報告書第 697 集
- 「※ 15」 岩手県教育委員会 2018 「北地鐵免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 698 集
- 「※ 16」 国土交通省地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2018 「サンニヤI道跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 687 集
- 「※ 17」 (公財) 岩手県文化振興事業団 2018 「平成 28 年度免税調査報告書」 11. 沼垂・相手新幹線・北野I道跡 (かく調査概報 (23 道跡)) 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 692 集
- 「※ 18」 岩手県洋野町教育委員会 2019 「西平内I道跡ハンドボーリング調査報告書」 洋野町河津城文化財調査報告書第 4 集
- 「※ 19」 岩手県洋野町教育委員会 2019 「下向II道跡免税調査報告書」 洋野町河津城文化財調査報告書第 5 集
- 「※ 20」 岩手県洋野町教育委員会 2019 「猪石遺跡免税調査報告書」 洋野町河津城文化財調査報告書第 6 集
- 「※ 21」 岩手県洋野町教育委員会 2019 「霞石遺跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 697 集
- 「※ 22」 国土交通省地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2019 「上のアマカ道跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 698 集
- 「※ 23」 国土交通省地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2019 「小田ノ道跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 699 集
- 「※ 24」 国土交通省地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2019 「先内遺跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 701 集
- 「※ 25」 国土交通省地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2019 「能輪跡 II道跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 702 集
- 「※ 26」 国土交通省地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2019 「南へ八木跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 703 集
- 「※ 27」 岩手県洋野町教育委員会 2020 「南へ王川I道跡」 小田ノ川道跡免税調査報告書 (かく調査概報 (23 道跡)) 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 7 集
- 「※ 28」 恵庭市恵美合 岩手県洋野町教育委員会 2020 「K12道跡免税調査報告書」 洋野町河津城文化財調査報告書第 8 集
- 「※ 29」 岩手県洋野町教育委員会 2020 「西平内I道跡免税調査報告書」 洋野町河津城文化財調査報告書第 9 集
- 「※ 30」 岩手県洋野町教育委員会 2020 「西平内II道跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 714 集
- 「※ 31」 国土交通省地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2020 「田ノサニ二十ノ道跡免税調査報告書」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 715 集
- 「※ 32」 (公財) 岩手県文化振興事業団 2020 「令和元年免税調査報告書」 沼垂I道跡 沼垂E道跡 岩井沢I道跡 上次次 I道跡 沼垂II道跡
- 「※ 33」 (公財) 岩手県文化振興事業団 2020 「(10 道跡)」 岩手県文化振興事業団附属文化財調査報告書第 721 集

IV. 試掘調査結果

《第1次試掘調査》風力発電第3号機



風力発電第7号機



【所在地】 洋野町種市第11地割字南玉川125番3

【現況】 山林、荒蕪地、林道

【標高】 約80m～90m

【調査期間】 平成31年4月24日～令和元年5月10日

【対象面積】 7,000m² (100m×70m)

【調査面積】 345m²

【調査概要】 調査地点は、JR八戸線玉川駅から西方へ約1.3kmの段丘上に位置する。北側を東流する和座川に向かって北北東へ伸びる尾根上に立地している。調査地内に切り出し道路を挟んで、幅1.5m、長さ8m～47mのトレンチを11箇所 (A1, A2, B, C1, C2, D1, D2, E1, E2, F1, F2) 設定した。重機により地山まで掘削して造構確認を行った。調査の結果、土坑、溝状土坑、不明造構等18基を検出し、排土から多量の遺物が採集された。造構及び遺物は、調査地の南側に集中する。

【参考】 新規発見遺跡（南玉川II遺跡）

種別：狩猟場跡・散布地

時代：縄文時代、弥生時代

【所在地】 洋野町種市第11地割字南玉川93番2

【現況】 山林

【標高】 約120m

【調査期間】 平成31年4月22日～4月24日、

令和元年6月18日～6月21日

【対象面積】 7,000m² (100m×70m)

【調査面積】 435m² + 369m² (追加トレント) = 804m²

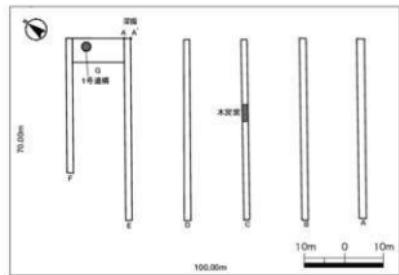
【調査概要】 調査地点は、JR八戸線宿戸駅から西方へ約2.3kmの小山川左岸の段丘上に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ40m～50mの試掘トレントを6箇所 (A, B, C, D, E, F) 設定した。その結果、Bトレントから土坑、溝状土坑、Fトレントから不明造構が検出された。その後、より詳細な情報を得るために新たにトレント間に5箇所 (G, H, I, J, K) 設定して追加調査を行った。その結果、H, Jトレントから溝状土坑及び不明造構とみられるものが検出された。遺物は確認されなかった。

【参考】 新規発見遺跡（南玉川I遺跡）

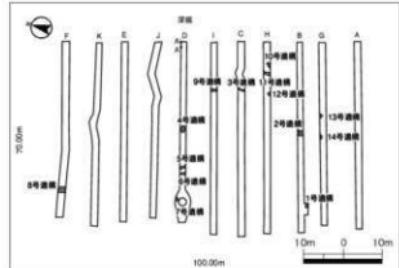
種別：狩猟場跡

時代：縄文時代

風力発電第 11 号機



風力発電第 16 号機



【所在地】 洋野町種市第 10 地割字西戸類家 96 番 4

【現 況】 山林 【標 高】 120m ~ 130m

【調査期間】 令和元年 5 月 20 日 ~ 5 月 23 日

【対象面積】 7.000m² (100m × 70m)

【調査面積】 398m² + 78m² (間拡張部分) = 476m²

【調査概要】 調査地点は、JR 八戸線宿戸駅から西方へ約 2.2km の小山川と土釜川に挟まれた段丘頂部付近に位置する。調査地内に幅 1.5m、長さ 35m ~ 46m の試掘トレンチを 6 箇所 (A, B, C, D, E, F) 設定した。調査前の踏査で、調査地北側から土器片数点を表探したことから、遺構等の検出が想定されたが確認されなかった。しかし、調査地北側の E・F トレンチ排土から數十点の土器片が採集されたことから、E・F トレンチ間に新たに G トレンチ (6m × 13m) を設定した。その結果、数点の遺物と 1 号遺構が確認された。また、C トレンチから、近・現代のものと思われる木炭窯跡が 1 基検出された。

【備 考】 新規発見遺跡 (西戸類家 I 遺跡)

種別：散布地

時代：縄文時代、弥生時代

【所在地】 洋野町種市第 7 地割字馬場 136 番 1

【現 況】 山林

【標 高】 150m ~ 160m

【調査期間】 令和元年 5 月 16 日 ~ 5 月 20 日、

同年 6 月 13 日 ~ 6 月 14 日

【対象面積】 7.000m² (100m × 70m)

【調査面積】 437m² + 356m² (追加トレンチ) = 793m²

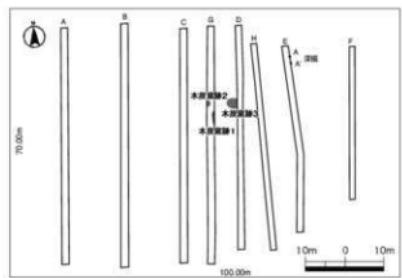
【調査概要】 調査地点は、JR 八戸線宿戸駅から南西へ約 2.8km の土釜川と大浜川に挟まれた段丘頂部付近に位置する。調査地内に幅 1.5m、長さ約 50m の試掘トレンチを 6 箇所 (A, B, C, D, E, F) 設定した。調査の結果、遺物は出土しなかったが 8 基の遺構が検出された。本調査の必要性があると判断され、より詳細な情報を得るために、それぞれのトレンチ間に 5 箇所 (G, H, I, J, K) 設定して追加調査を行った。新たに 6 基、合計 14 基の遺構が検出された。

【備 考】 新規発見遺跡 (馬場 II 遺跡)

種別：狩猟場跡

時代：縄文時代

風力発電第 17 号機



【所在地】 洋野町種市第 3 地割字小田沢 78 番 1、2

【現 況】 山林 【標 高】 150m ~ 160m

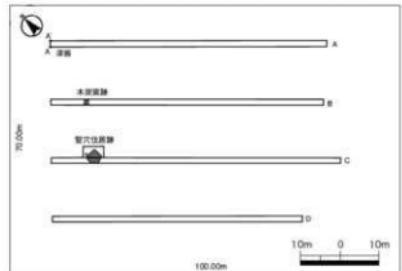
【調査期間】 平成 31 年 4 月 24 日～令和元年 5 月 10 日

【対象面積】 7.000m² (100m × 70m)

【調査面積】 483m² + 175.5m² (追加) = 658.5m²

【調査概要】 調査地点は、JR 八戸線陸中八木駅から西へ約 3.6km の大浜川右岸の段丘端部に位置する。調査地内に幅 1.5m、長さ 40m ~ 50m の試掘トレーニチを 6 箇所 (A、B、C、D、E、F) 設定した。A トレーニチから比高差約 10m から数 10cm ~ 最大長約 2m の配石・集積状の礫群が出土した。松山力氏(日本地質学会会員)のご教示により、自然崩落との見解を頂いた。また、D トレーニチから 30cm 大の礫を伴う円形の黒色プランが検出し、詳細な情報を得るために、D トレーニチ両脇に 2 本 (G・H) のトレーニチを追加設定した。円形の黒色染み状遺構が 2 基検出されたが、トレーニチ内の土層観察や周辺の状況から樹木痕と判断した。G トレーニチから近・現代のものと考えられる木炭窯跡が 3 基検出されたが、その他の遺構・遺物は確認されなかった。

《第 2 次試掘調査》風力発電第 18 号機



【所在地】 洋野町種市第 11 地割字南玉川 147 番

【現 況】 山林

【標 高】 約 166m ~ 176m

【調査期間】 令和元年 8 月 19 日～8 月 23 日

【対象面積】 7.000m² (100m × 70m)

【調査面積】 417m² + 15m² (C トレーニチ拡張部分)
= 432m²

【調査概要】 調査地点は、JR 八戸線宿戸駅から西へ約 5.2km の和座川右岸の段丘頂部に位置する。調査地内に幅 1.5m、長さ 64m ~ 74m の試掘トレーニチを 4 箇所 (A、B、C、D) 設定した。調査の結果、B トレーニチ北西端から木炭窯跡が 1 基、それと隣接するように C トレーニチの北西端から古代の竪穴住居跡が 1 基検出された。全体の規模を確認する為に 15mほど拡張した。検出した木炭窯跡の幅は約 1.1m である。竪穴住居跡の規模は約 3m × 3m である。

【備 考】 新規発見遺跡 (南玉川Ⅲ遺跡)

種別：集落跡

時代：奈良・平安時代

風力発電第 20 号機



【所在地】 洋野町種市第 8 地割字南戸類家 75 番 2

【現 態】 山林

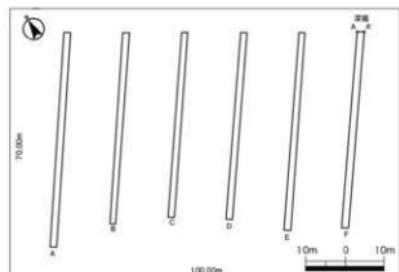
【標 高】 約 166m ~ 172m

【調査期間】 令和元年 7 月 17 日 ~ 7 月 29 日

【対象面積】 7,000m² (100m × 70m)

【調査面積】 459m²

【調査概要】 調査地点は、JR 八戸線陸中八木駅から西方へ約 5km の小山川と土釜川に挟まれた段丘頂部に位置する。調査地内に幅 1.5m、長さ 47m ~ 54m の試掘トレンチを 6 箇所 (A, B, C, D, E, F) 設定した。調査の結果、遺物・遺構は確認されなかった。



風力発電第 23 号機



【所在地】 洋野町種市第 3 地割字小田沢 81 番

【現 態】 山林

【標 高】 約 170m ~ 180m

【調査期間】 令和元年 8 月 2 日 ~ 8 月 5 日

【対象面積】 7,000m² (100m × 70m)

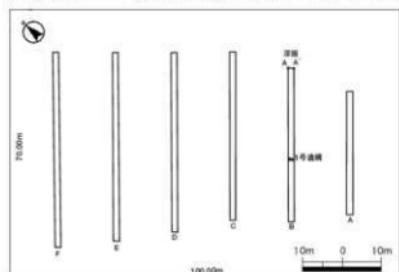
【調査面積】 386m²

【調査概要】 調査地点は、JR 八戸線陸中八木駅から西方へ約 4.5km の大浜川右岸の段丘頂部に位置する。調査地内に幅 1.5m、長さ 31m ~ 50m の試掘トレンチを 6 箇所 (A, B, C, D, E, F) 設定した。B トレンチから溝状土坑と思われる遺構が 1 基検出された。遺物は確認されなかった。

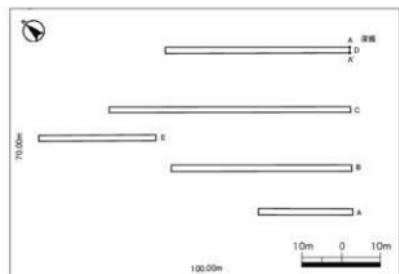
【備 考】 新規発見遺跡（小田ノ沢 II 遺跡）

種別：狩猟場跡

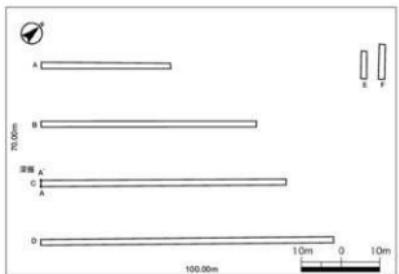
時代：縄文時代



風力発電第 28 号機



風力発電第 30 号機



【所在地】 洋野町種市第 10 地割字西戸類家

123 番 1, 2

【現 況】 山林

【標 高】 約 200m ~ 210m

【調査期間】 令和元年 7 月 31 日 ~ 8 月 8 日

【対象面積】 7,000m² (100m × 70m)

【調査面積】 314m²

【調査概要】 調査地点は、JR 八戸線陸中八木駅から西方へ約 7km の大浜川支流左岸の段丘頂部に位置する。調査地内に幅 1.5m、長さ 24m ~ 62m の試掘トレンチを 5 箇所 (A、B、C、D、E) 設定した。

遺物・遺構は確認されなかった。

《第3次試掘調査》風力発電第2号機



【所在地】 洋野町種市第14地割字北玉川98番1

【現況】 山林

【標高】 104m～110m

【調査期間】 令和元年11月26日～11月29日

【対象面積】 7,000m² (100m×70m)

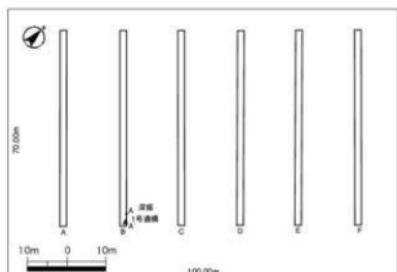
【調査面積】 450m²

【調査概要】 調査地点は、JR八戸線玉川駅から西方へ約1.8kmの和座川右岸の段丘頂部に位置する。調査地内に幅15m、長さ50mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。Bトレンチ南端(深掘地点)から溝状土坑が1基検出された。遺物は確認されなかった。

【備考】 新規発見遺跡(北玉川II遺跡)

種別：狩猟場跡

時代：縄文時代



風力発電第5号機



【所在地】 洋野町種市第11地割字南玉川99番1、2、3

【現況】 山林

【標高】 110m～118m

【調査期間】 令和元年11月20日～11月25日

【対象面積】 7,000m² (100m×70m)

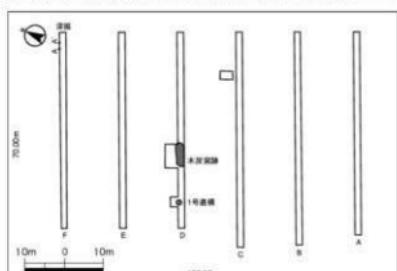
【調査面積】 468m²+30m² (拡張部分) = 498m²

【調査概要】 調査地点は、JR八戸線玉川駅から南西へ約1.3kmの小山川左岸の段丘頂部に位置する。調査地内に幅15m、長さ50m～55mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。Dトレンチから円形状の遺構が1基と近・現代のものと思われる木炭窯跡が1基検出された。また、縄文時代の遺構の可能性がある痕跡がみられ、一部拡張するなどサブトレンチを設けて確認したが、全て樹木痕と判明した。遺物は確認されなかった。

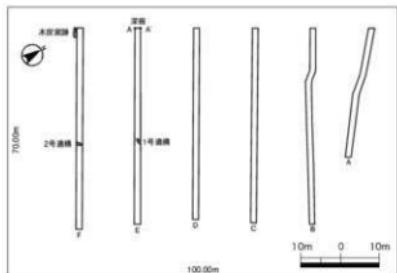
【備考】 新規発見遺跡(南玉川IV遺跡)

種別：散布地

時代：縄文時代



風力発電第24号機



【所在地】 洋野町小子内第7地割字長坂60番3

【現況】 山林

【標高】 177m ~ 192m

【調査期間】 令和元年11月15日~11月20日

【対象面積】 7.000m² (100m × 70m)

【調査面積】 434m²

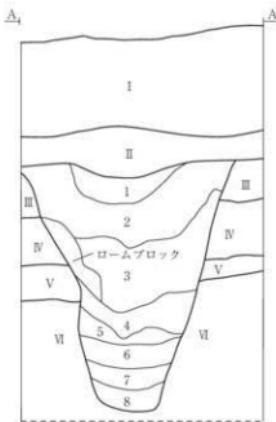
【調査概要】 調査地点は、JR八戸線有家駅から西へ約5.1kmの原子内川支流左岸の段丘端部に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ34m~52mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。E・Fトレンチのほぼ中央付近から溝状土坑と思われる遺構がそれぞれ1基ずつ2基検出された。また、Fトレンチ北西端から近現代のものと思われる木炭窯跡が1基検出された。遺物は確認されなかった。

【備考】 新規発見遺跡（長坂II遺跡）

種別：狩猟場跡

時代：縄文時代

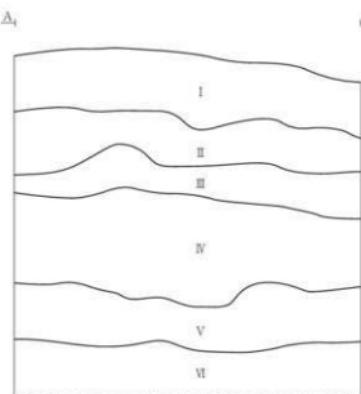
3号機



3号機 (A2トレンチ 西壁)

- I 10YR2/1 黒色土 粘性なし 繰りなし
 - II 10YR2/2 黒褐色土 やや粘性あり 繰り弱
 - III 10YR3/3 暗褐色土 やや粘性あり やや繰りあり
 - IV 10YR6/8 明黄褐色土 粘性あり 繰りあり
 - V 5YR5/4 にふい赤褐色土 粘性あり 繰りあり
 - VI 10YR6/4 にふい黄褐色土 粘性あり 繰り強
- (4号機)
- 1 10YR2/1 黒色土 粘性なし 繰りなし
 - 2 10YR2/2 黒褐色土 やや粘性あり 繰り弱
 - 3 10YR5/3 にふい黄褐色土 粘性あり やや繰りあり
 - 4 75YR5/4 にふい褐色土 粘性あり 繰り弱
 - 5 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 繰り弱
 - 6 10YR5/3 にふい黄褐色土 粘性あり 繰り強
 - 7 10YR6/4 にふい黄褐色土 粘性あり 繰り強
 - 8 10YR4/3 にふい黄褐色土 粘性あり 繰り強

7号機



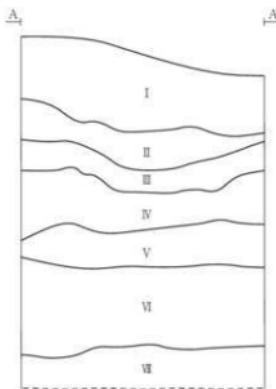
7号機 (Eトレンチ 北東壁)

- I 10YR2/1 黒色土 粘性なし 繰りなし
- II 10YR2/2 黒褐色土 やや粘性あり 繰り弱
- III 10YR6/8 明黄褐色土 やや粘性あり 繰りあり
- IV 10YR6/8 明黄褐色土 粘性あり 繰り強
- V 10YR7/8 黄褐色土 粘性あり 繰りあり
- VI 10YR5/4 にふい黄褐色土 粘性あり 繰りあり



第3図 深掘土層序

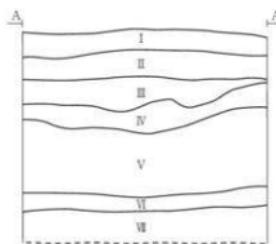
11号機



11号機 (Eトレーナー北東壁)

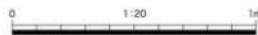
- I 10YR3/2 黒褐色土 やや粘性あり 繰り弱
- II 10YR4/2 暗黄褐色土 やや粘性あり 繰り弱
- III 10YR6/8 明黄褐色土 やや粘性あり 繰り弱
- IV 10YR6/8 明黄褐色土 粘性あり 繰り強 非常に堅緻である
- V 7.5YR6/3 にぶい褐色土 粘性強 繰り強
- VI 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 繰り強
- VII 10YR3/4 暗褐色土 やや粘性あり 繰り強 粗い砂質

16号機



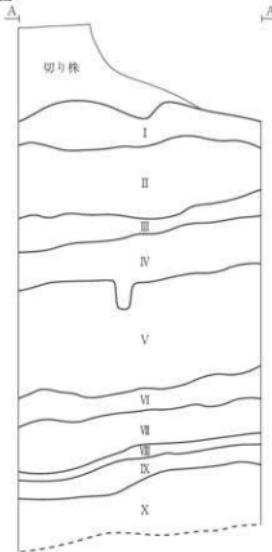
16号機 (Dトレーナー北壁)

- I 10YR2/1 黒色土 粘性なし 繰り弱
- II 10YR2/2 黒褐色土 粘性弱 繰り弱
- III 10YR3/2 黒褐色土 やや粘性あり やや繰りあり
- IV 10YR6/8 明黄褐色土 やや粘性あり 繰りあり
- V 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性強 繰り強
- VI 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 繰り強
- VII 7.5YR6/4 にぶい橙色土 粘性強 繰り弱



第4図 深掘土層序

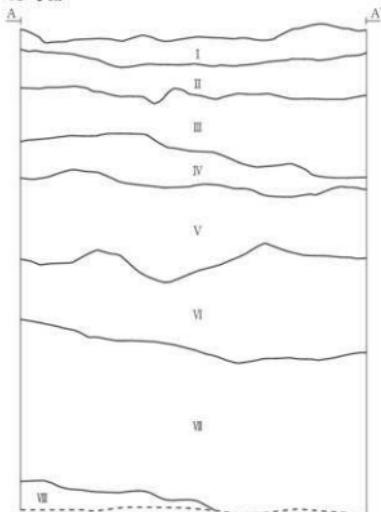
17号機



17号機(Eトレンチ 東壁)

- I 10YR2/1 黒色土 やや粘性あり 繰り弱
- II 10YR2/1 黒色土 やや粘性あり 繰り弱
下位にIV層の軽石を微量に含む
- III 10YR2/1 黒色土 やや粘性あり 繰り弱
軽石をやや多く含む
- IV 10YR2/1 黒色土 やや粘性あり 繰りあり
- V 10YR5/4 にほい黄褐色土 粘性強 繰り強
- VI 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 繰り強
2~20mmの軽石を多量に含む
- VII 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 繰り強
5~30mmの軽石を多量に含む
- IX 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 繰り強
- X 7.5YR5/4 にほい橙色土 粘性強 繰り弱

18号機



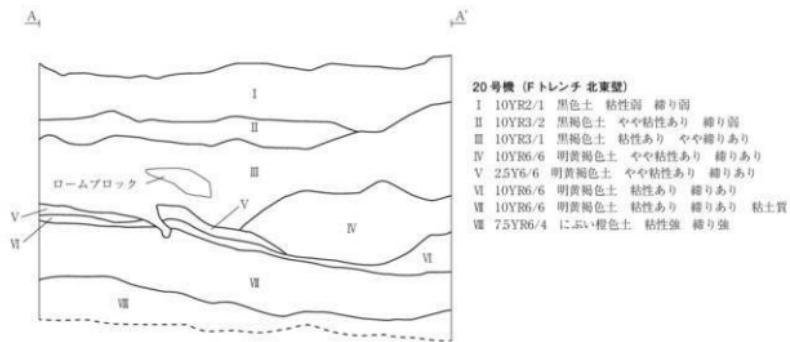
18号機(Aトレンチ 北西壁)

- I 10YR3/1 黑褐色土 やや粘性あり 繰り弱
- II 10YR4/2 灰黄褐色土 やや粘性あり 繰り弱
- III 10YR3/1 黑褐色土 粘性あり やや繰りあり
- IV 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 繰りあり
- V 7.5YR6/4 にほい橙色土 粘性強 繰りあり
- VI 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 繰りあり
- VII 10YR6/6 明黄褐色土 粘性強 繰り強
- VIII 5YR4/6 赤褐色土 粘性あり 繰りあり

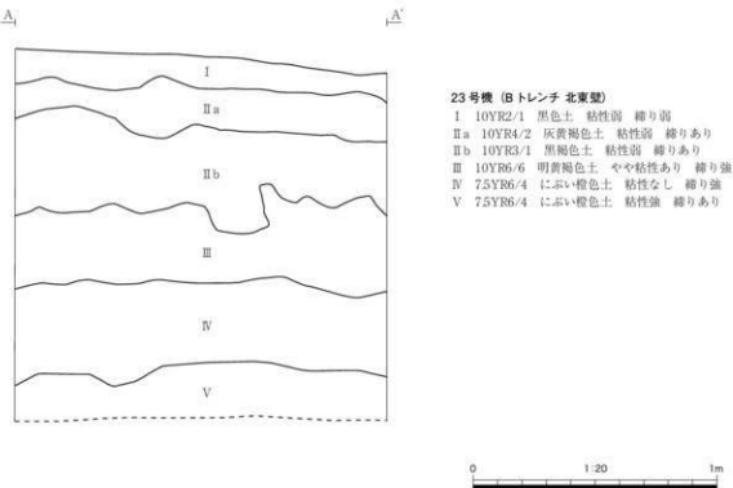
0 1:20 1m

第5図 深掘土層序

20号機

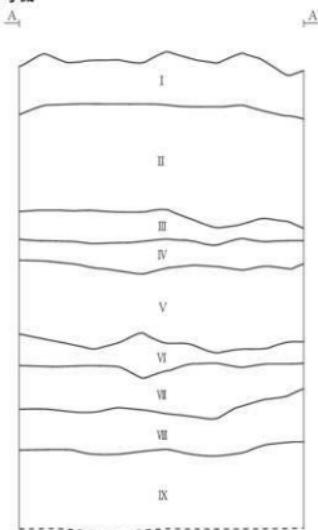


23号機



第6図 深掘土層序

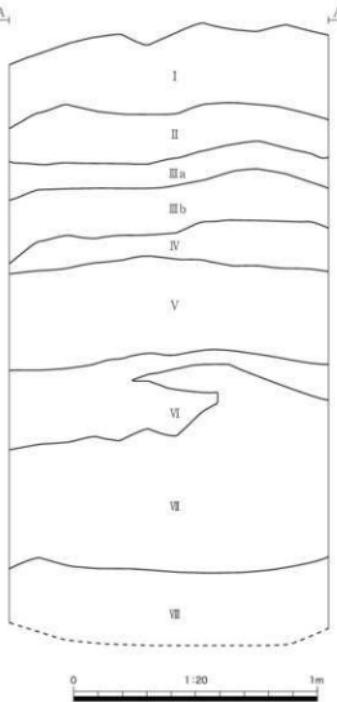
28号機



28号機 (Dトレンチ 南壁)

- I 10YR2/1 黒色土 粘性弱 繰り弱
- II 10YR17/1 黒色土 やや粘性あり 繰りあり
- III 7.5YR6/8 棕色土 やや粘性あり 繰り強
- IV 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 繰りあり
- V 10YR4/6 褐色土 粘性あり 繰りあり
- VI 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 繰りあり
- VII 10YR6/6 明黄褐色土 粘性なし 繰り強
- VIII 10YR6/8 明黄褐色土 粘性あり 繰り強
- IX 10YR8/2 灰白色土 粘性あり 繰り弱

30号機

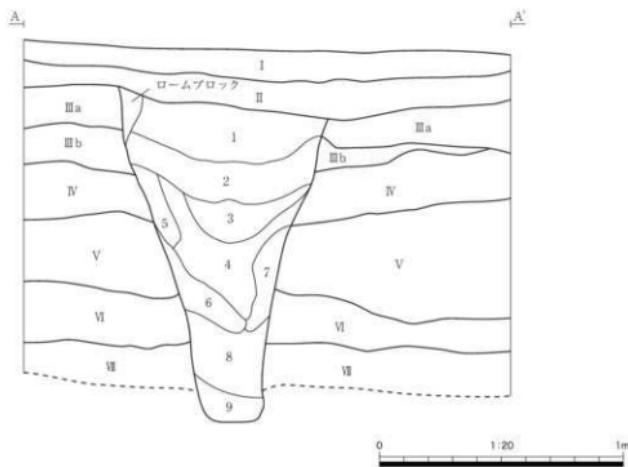


30号機 (Cトレンチ 南壁)

- I 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 繰りなし
- II 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 繰り弱
- IIIa 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし やや繰りあり
- IIIb 10YR4/4 棕色土 粘性なし 繰りあり
- IV 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり しまり強
- V 10YR5/6 黄褐色土 やや粘性あり 繰り強
- VI 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性強 繰り強
- VII 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 繰りあり
- VIII 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 繰り弱

第7図 深掘土層序

2号機

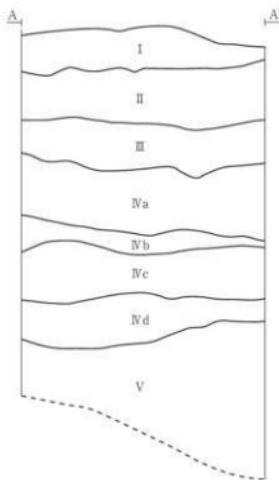


2号機 (Bトレンチ)

- I 10YR2/2 黒褐色土 粘性弱 繰りなし
- II 10YR3/2 黒褐色土 粘性弱 繰り弱
- IIIa 10YR3/3 暗褐色土 粘性弱 やや繰りあり
0.1~1cm 大のローム粒を少量含む
- IIIb 10YR3/3 暗褐色土 粘性弱 やや繰りあり
ローム粒とロームブロックを多く含む
- IV 25Y6/8 明黄褐色土 粘性あり 繰り強
- V 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性強 繰りあり
- VI 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性あり 繰りあり
- VII 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性強 繰り強
- (1号道標)
 - 1 10YR3/1 黒褐色土 やや粘性あり 繰り弱
 - 2 10YR3/1 黑褐色土 やや粘性あり 繰りあり
 - 3 10YR2/1 黑色土 粘性あり 繰りあり
 - 4 10YR3/2 黑褐色土 粘性あり 繰り弱
 - 5 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 繰りなし
 - 6 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 繰りなし
 - 7 10YR4/4 褐色土 粘性あり 繰りなし
 - 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 繰り弱
 - 9 10YR1.7/1 黑色土 粘性あり 繰りなし

第8図 深掘土層序

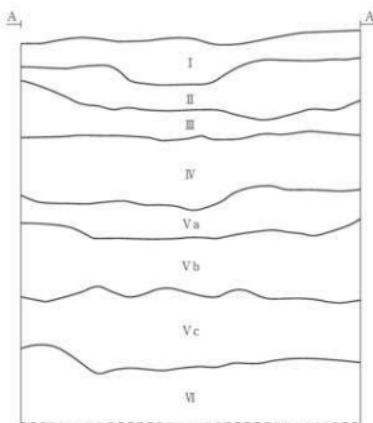
5号機



5号機 (Fトレンチ 北壁)

- I 10YR2/1 黒色土 粘性弱 繰りなし
- II 10YR3/2 黒褐色土 やや粘性あり 繰り弱
- III 10YR3/3 暗褐色土 やや粘性あり 繰り弱
- IVa 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 繰りあり
- IVb 25Y6/6 明黄褐色土 粘性あり 繰り強
- IVc 10YR5/8 黄褐色土 粘性あり 繰り強
- IVd 25Y6/6 明黄褐色土 粘性強 繰り強
- V 7.5YR6/4 にぶい褐色土 粘性強 繰り弱

24号機



24号機 (Eトレンチ 北西壁)

- I 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 繰り弱
- II 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 繰り弱
- III 10YR3/4 暗褐色土 粘性弱 繰り弱
- IV 10YR4/2 灰黄褐色土 やや粘性あり 繰りあり
- Va 10YR5/6 黄褐色土 やや粘性あり 繰りあり
- Vb 10YR5/8 黄褐色土 粘性あり 繰り強
- Vc 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 繰り強
- VI 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性強 繰り弱



第9図 深掘土層序

V. 試掘調査のまとめ

風力発電所建設予定地 13 箇所の試掘調査結果を第 2 表にまとめた。9 箇所で遺構が確認され、新規発見遺跡として登録された。その内訳は縄文時代が 8 箇所、古代（奈良・平安）が 1 箇所である。

縄文時代の遺跡では、6 箇所で溝状土坑が検出され、いずれも狩猟場跡としての登録であるが、3 号機建設予定地（南玉川 II 遺跡）では遺構が多数発見され、中には堅穴住居跡と考えられるものがあり、遺物の出土量も多いことから、集落跡の可能性がある。

古代の遺跡では、18 号機建設予定地（南玉川 III 遺跡）で、堅穴住居跡が 1 軒とそれに隣接して本炭窯跡が 1 基検出された。古代の遺跡の登録が少ない洋野町では貴重な発見となった。

本炭窯跡は、11 号機建設予定地（西戸類家 I 遺跡）、17 号機建設予定地（遺跡該当なし）、24 号機建設予定地（長坂 II 遺跡）でも発見されているが、近・現代のものである。

＜参考文献＞

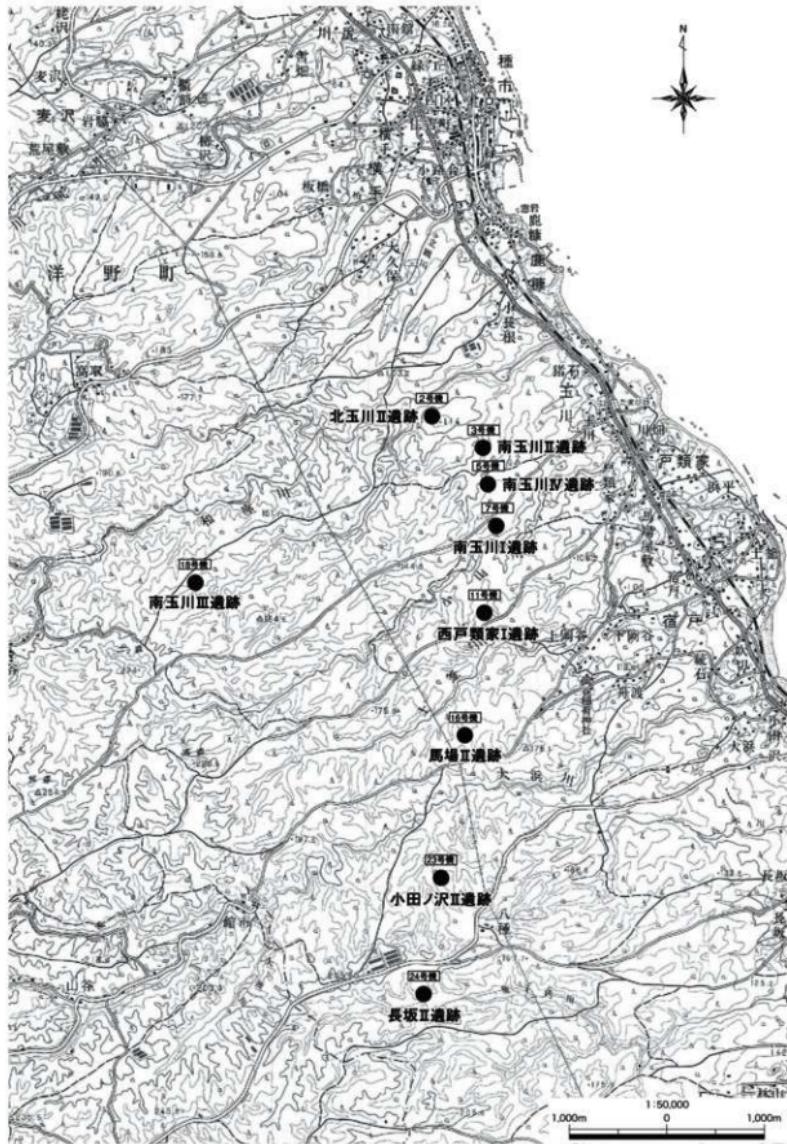
岩手県洋野町教育委員会 2013 「平内 II 遺跡発掘調査報告書」 洋野町埋蔵文化財調査報告書第 1 集

岩手県洋野町教育委員会 2015 「平内 II 遺跡発掘調査報告書」 洋野町埋蔵文化財調査報告書第 2 集

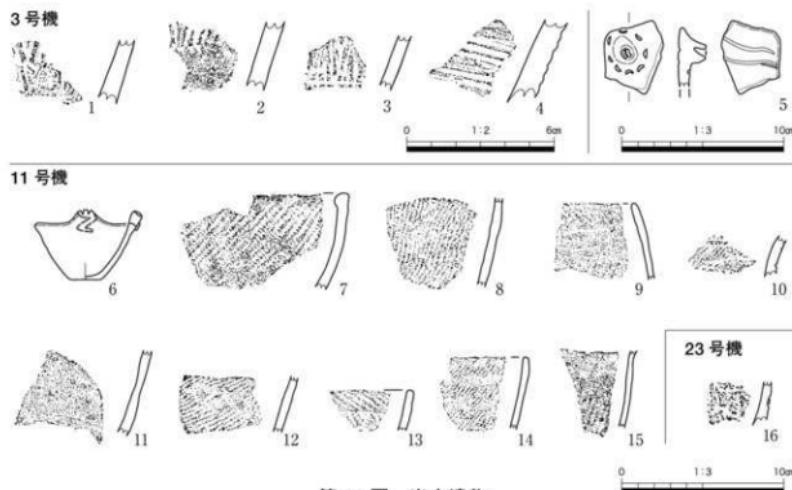
岩手県洋野町教育委員会 2020 「南玉川 I 遺跡・小田ノ沢 II 遺跡発掘調査報告書」 洋野町埋蔵文化財調査報告書第 7 集

風車No	試掘調査結果 (遺跡名)	トレンチの 数量	追加トレンチ の数量	サブトレンチ の数量	検出遺構	出土遺物	土器 数量	石器・ 礫数量	備考
2号機	新規発見道路 (北玉川Ⅱ遺跡)	6	0	0	溝状土坑1	—	—	—	第3次調査
3号機	新規発見道路 (南玉川Ⅲ遺跡)	11	0	0	溝状土坑3 (4・14・15号遺構) 土坑(円形)10 (3・5・6・7・8・9・ 10・11・12・13号遺構) 土坑(柱穴状)2 (1・2号遺構) 不明遺構3 (16・17・18号遺構)	縄文土器 石器 弥生土器	546	110	第1次調査
5号機	新規発見道路 (南玉川Ⅳ遺跡)	6	0	3	土坑(円形)1 木炭窯跡(近・現代)	—	—	—	第3次調査
7号機	新規発見道路 (南玉川Ⅰ遺跡)	6	5	0	溝状土坑2 (1・6号遺構) 土坑(円形)1 (2号遺構) 不明遺構3 (3・4・5号遺構)	—	—	—	第1次調査
11号機	新規発見道路 (西戸類家Ⅰ遺跡)	6	1	0	土坑1 (1号遺構) 木炭窯跡(現代)	縄文土器 弥生土器	79	1	第1次調査
16号機	新規発見道路 (馬場Ⅱ遺跡)	6	5	1	溝状土坑8 (3・5・6・7・8・9・ 10・11号遺構) 土坑3 (1・2・4号遺構) 不明遺構3 (12・13・14号遺構)	—	—	—	第1次調査
17号機	—	6	2	0	木炭窯跡(近・現代)	—	—	—	第1次調査 崩落隕出土
18号機	新規発見道路 (南玉川Ⅲ遺跡)	4	0	1	竪穴住居跡1 木炭窯跡1	土器	8	1	第2次調査
20号機	—	6	0	0	—	—	—	—	第2次調査
23号機	新規発見道路 (小田ノ沢Ⅱ遺跡)	6	0	0	溝状土坑1	—	—	—	第2次調査
24号機	新規発見道路 (長坂Ⅲ遺跡)	6	0	0	溝状土坑2 木炭窯跡(近・現代)	—	—	—	第3次調査
28号機	—	5	0	0	—	—	—	—	第2次調査
30号機	—	6	0	0	—	—	—	—	第2次調査

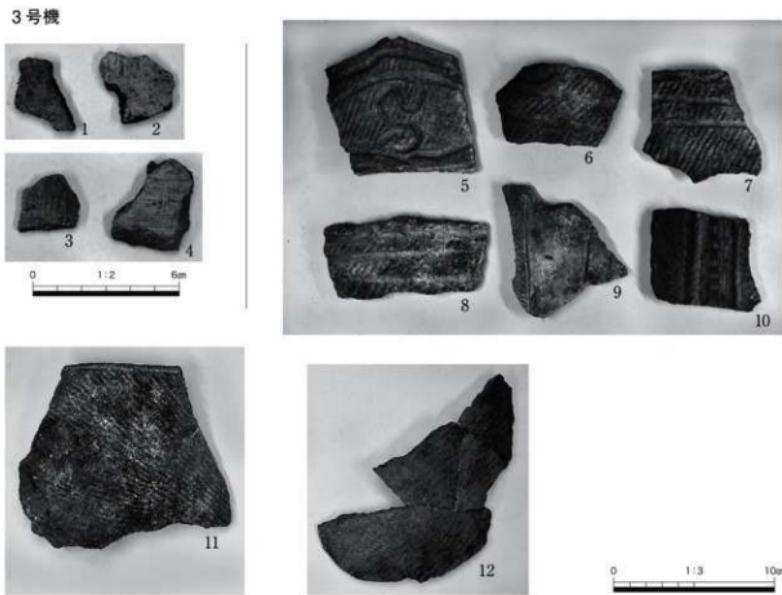
第2表 試掘調査結果一覧



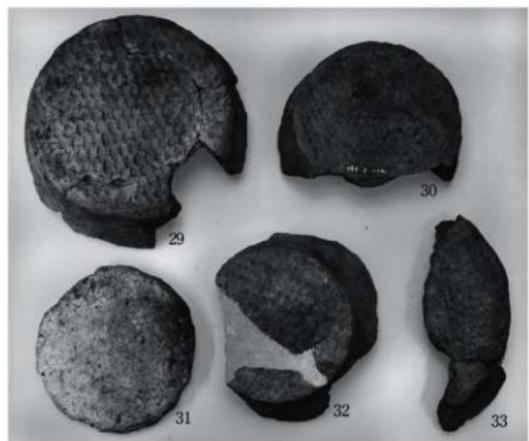
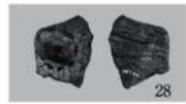
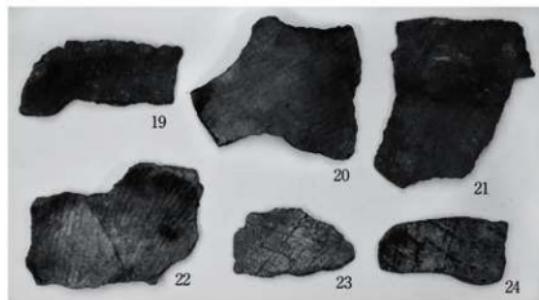
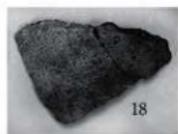
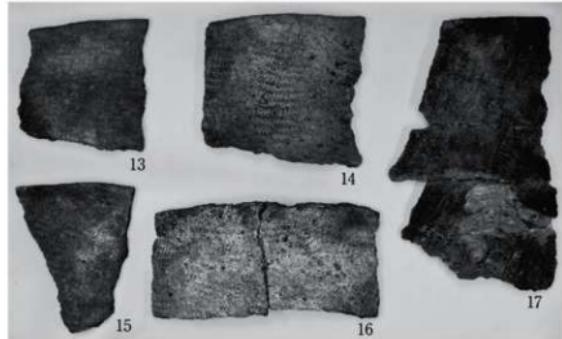
第10図 新規発見の遺跡位置図



第11図 出土遺物

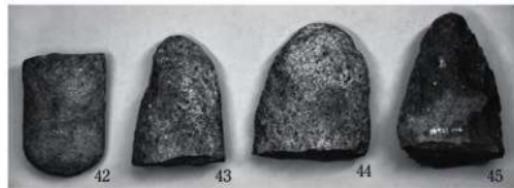
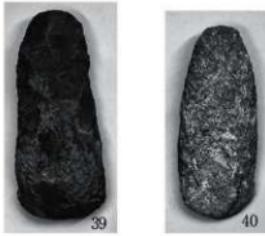


3号機



写真図版 2 出土遺物

3号機



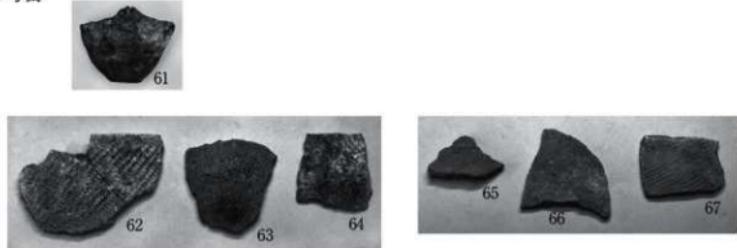
0 1:3 10cm

写真図版 3 出土遺物

3号機



11号機



23号機



写真図版4 出土遺物

No.	図番号	写真図版番号	出土地点	レンタル名	器種・部位	計測値 (mm)		基定期 口径 部品 底径	備考
						長さ	幅		
1	第11回-1	写真図版1-1	3号機	A2	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代、押型文
2	第11回-2	写真図版1-2	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代、押型文
3	第11回-3	写真図版1-3	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代、押型文
4	第11回-4	写真図版1-4	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代、貝殻文
5	-	写真図版1-5	3号機	B	深鉢・口縁部	—	—	—	縄文時代
6	-	写真図版1-6	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
7	-	写真図版1-7	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
8	-	写真図版1-8	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
9	-	写真図版1-9	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
10	-	写真図版1-10	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
11	-	写真図版1-11	3号機	B	深鉢・口縁部	—	—	—	縄文時代
12	-	写真図版1-12	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
13	-	写真図版1-13	3号機	B	深鉢・口縁部	—	—	—	縄文時代
14	-	写真図版1-14	3号機	B	深鉢・口縁部	—	—	—	縄文時代
15	-	写真図版1-15	3号機	B	深鉢・口縁部	—	—	—	縄文時代
16	-	写真図版1-16	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
17	-	写真図版1-17	3号機	B	深鉢・口縁部	—	—	—	縄文時代
18	-	写真図版1-18	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
19	-	写真図版1-19	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
20	-	写真図版1-20	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
21	-	写真図版1-21	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
22	-	写真図版1-22	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
23	-	写真図版1-23	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
24	-	写真図版1-24	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
25	-	写真図版1-25	3号機	A2	深鉢・側部	—	—	—	弥生時代
26	-	写真図版1-26	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	弥生時代
27	-	写真図版1-27	3号機	B	深鉢・口縁部	—	—	—	弥生時代
28	第11回-5	写真図版1-28	3号機	B	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代、上口豎口縁部或いは上唇の解剖
29	-	写真図版1-29	3号機	B	深鉢・底部	—	—	116	縄文時代、網代貞
30	-	写真図版1-30	3号機	B	深鉢・底部	—	—	97	縄文時代、網代貞
31	-	写真図版1-31	3号機	D2	深鉢・底部	—	—	93	縄文時代
32	-	写真図版1-32	3号機	B	深鉢・底部	—	—	87	縄文時代、網代貞
33	-	写真図版1-33	3号機	B	深鉢・底部	—	—	[130]	縄文時代、網代貞
34	第11回-6	写真図版1-41	11号機	G	小型鉢・略尖	—	40	[119]	縄文時代、二チヌア土器
35	第11回-7	写真図版1-42	11号機	G	深鉢・口縁部	—	—	—	縄文時代
36	第11回-8	写真図版1-43	11号機	F	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代
37	第11回-9	写真図版1-44	11号機	E	深鉢・口縁部	—	—	—	弥生時代、口縫部に縄文
38	第11回-10	写真図版1-45	11号機	E	深鉢・側部	—	—	—	弥生時代
39	第11回-11	写真図版1-46	11号機	E	深鉢・側部	—	—	—	弥生時代
40	第11回-12	写真図版1-47	11号機	E	深鉢・側部	—	—	—	弥生時代
41	第11回-13	写真図版1-48	11号機	E	深鉢・口縁部	—	—	—	弥生時代、口縫部に縄文
42	第11回-14	写真図版1-49	11号機	F	深鉢・口縁部	—	—	—	弥生時代
43	第11回-15	写真図版1-40	11号機	G	深鉢・側部	—	—	—	弥生時代
44	第11回-16	写真図版1-41	23号機	D	深鉢・側部	—	—	—	縄文時代、調査地外隣面地より表抜

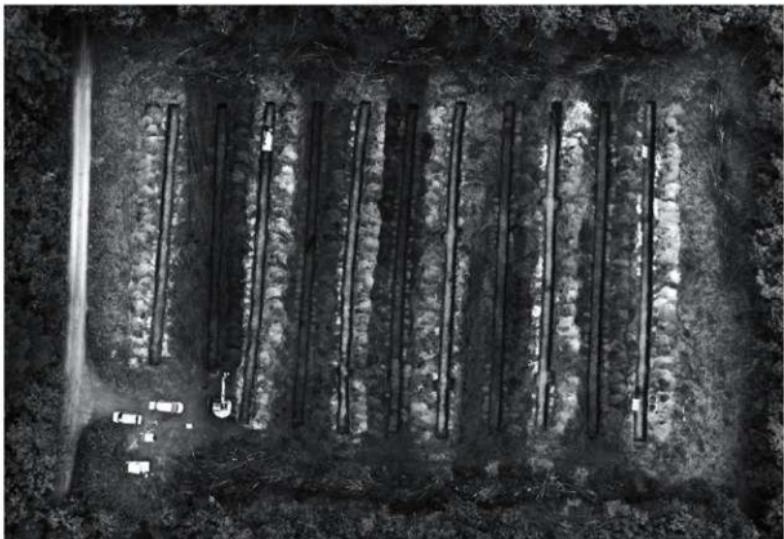
第3表 出土遺物観察表(土器)

No.	写真図版番号	出土地点	レンタル名	遺物名	計測値 (mm)			重量 (g)	石質	備考
					長さ	幅	厚さ			
1	写真図版234	3号機	B	石盤	16	11	2.5	0.5	チャート	完形、有茎
2	写真図版235	3号機	B	石盤	19	13	2.5	0.7	碧岩	完形、無茎
3	写真図版236	3号機	A2	石盤	47	13	7.5	43	チャート	完形、無茎
4	写真図版237	3号機	B	円盤状石器	54	48	6.5	21.3	碧岩	完形
5	写真図版238	3号機	A1	石斧	115	44	25	161.3	粗粒玄武岩	完形
6	写真図版239	3号機	A2	石斧	125	75	34	336.9	玄武岩	完形
7	写真図版240	3号機	A1	石斧	116.5	46	32	262.3	粗粒玄武岩	完形
8	写真図版241	3号機	A1	石斧	100	62	51	494.2	粗粒玄武岩	基部欠損
9	写真図版242	3号機	B	石斧	75	49	36	202.1	粗粒玄武岩	基部欠損
10	写真図版243	3号機	B	石斧	72.5	55	40	246.8	粗粒玄武岩	刀部欠損
11	写真図版244	3号機	B	石斧	82	69	37.5	336.4	粗粒玄武岩	刀部欠損
12	写真図版245	3号機	C1	碎巖	92	64	46	305.9	崩れい岩	欠形
13	写真図版246	3号機	B	磨石	118	79	54	869.5	花崗岩	欠形
14	写真図版247	3号機	C1	磨石	119	63	34	416.2	崩れい岩	完形
15	写真図版248	3号機	B	磨石	104	65.5	36	381.9	崩れい岩	完形
16	写真図版249	3号機	A1	磨石	106	63	31	347.8	崩れい岩	完形
17	写真図版250	3号機	B	磨石	84	66.5	49.5	410.3	粗粒玄武岩	完形
18	写真図版251	3号機	B	磨石	71	64	24	163.9	崩れい岩	完形
19	写真図版252	3号機	B	磨石	85	56	38	299.3	粗粒玄武岩	完形
20	写真図版253	3号機	B	敲打器	90.5	47.5	33	297.4	玄武岩	完形
21	写真図版254	3号機	D2	敲打器	89	69	56	433.4	チャート	—
22	写真図版255	3号機	B	敲打器	69	55	46	296.6	玄武岩	—
23	写真図版256	3号機	B	敲打器	66	54	31	196.2	チャート	—
24	写真図版257	3号機	A1	磨石	100	62.5	26	200.1	玄武岩	—
25	写真図版258	3号機	A1	磨石	100	95	52.5	645.1	玄武岩	—
26	写真図版259	3号機	B	凹石	121	86	48	572.6	玄武岩	—
27	写真図版260	3号機	A1	石盤	236	157	68	3267.1	礫状岩	—

第4表 出土遺物観察表(石器)



3号機

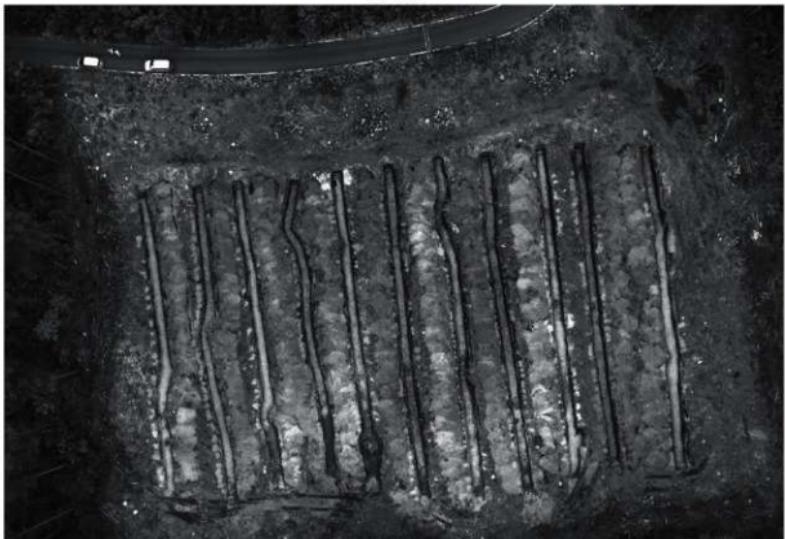


7号機

写真図版 5 第1次調査地全景

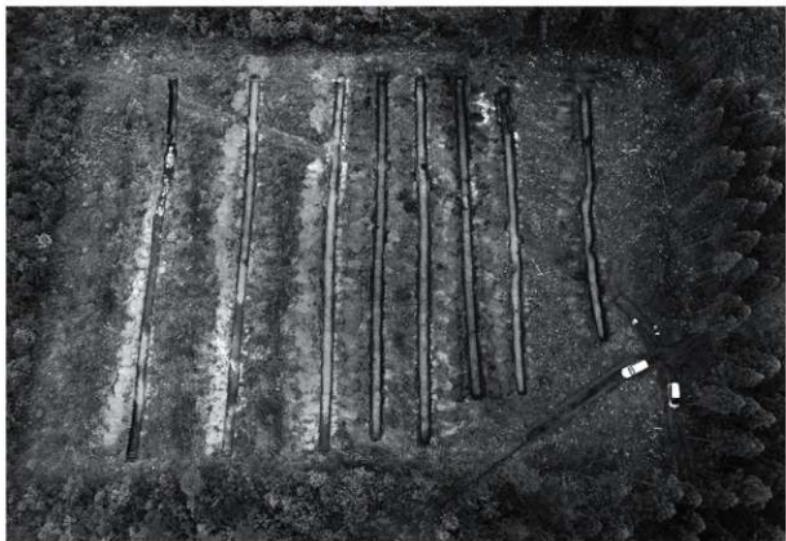


11号機

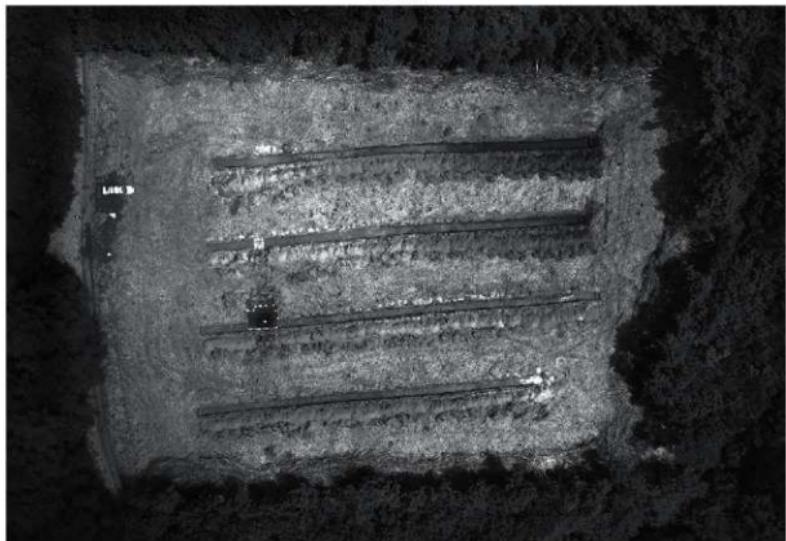


16号機

写真図版 6 第1次調査地全景

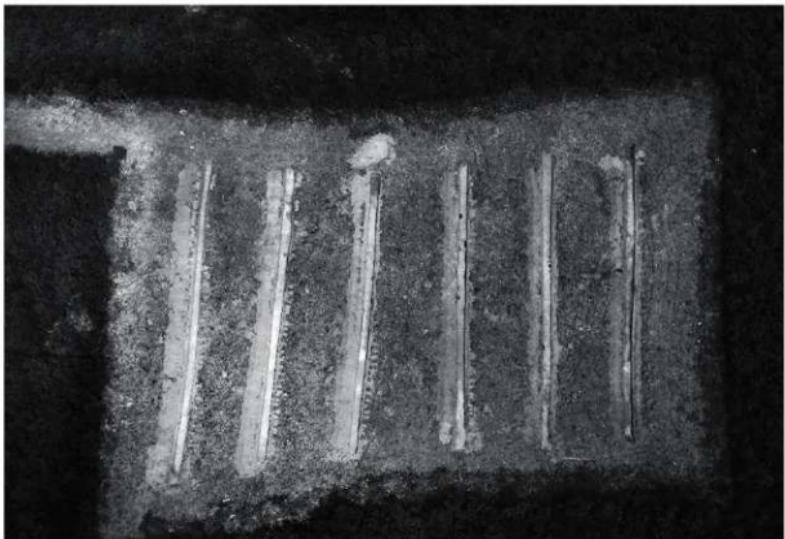


17号機

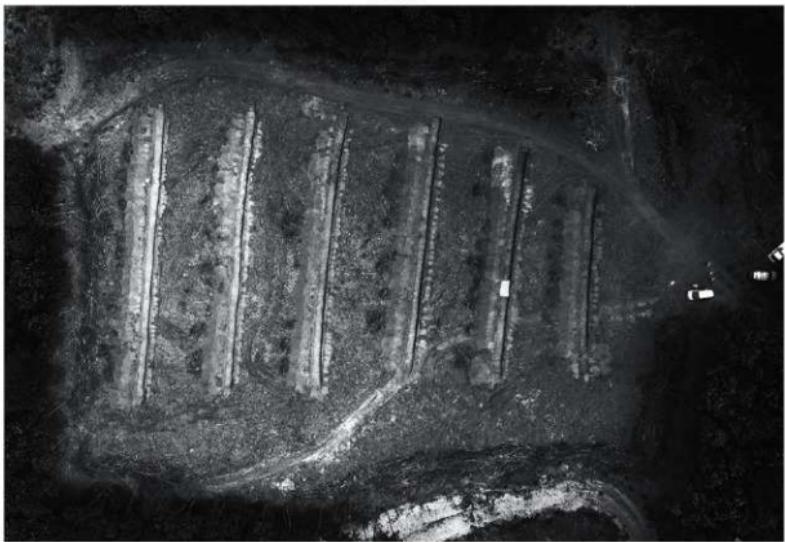


18号機

写真図版 7 第1次・第2次調査地全景

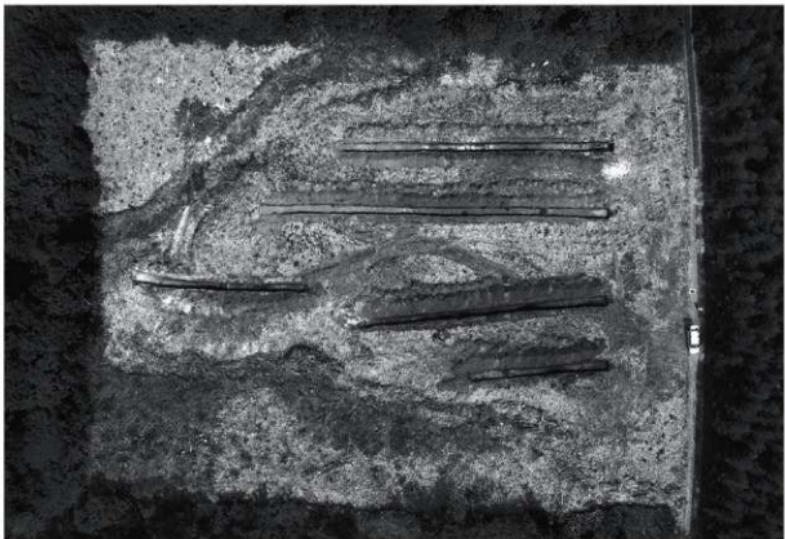


20号機



23号機

写真図版 8 第2次調査地全景

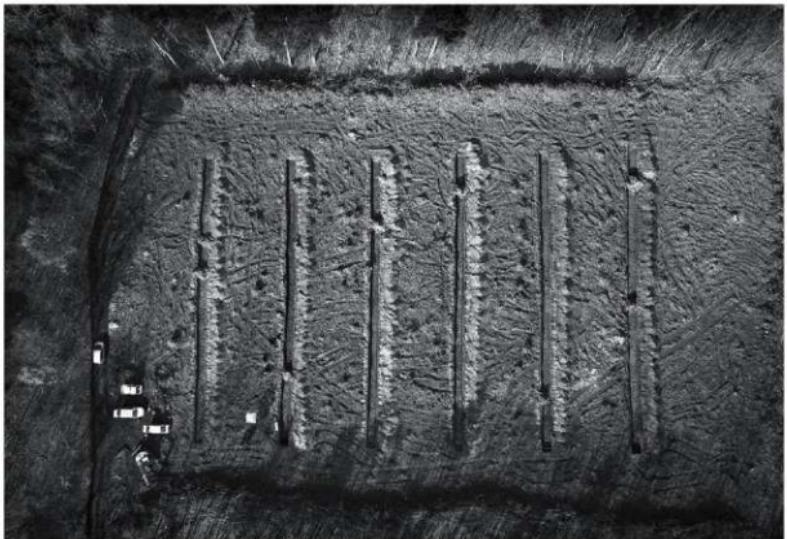


28号機

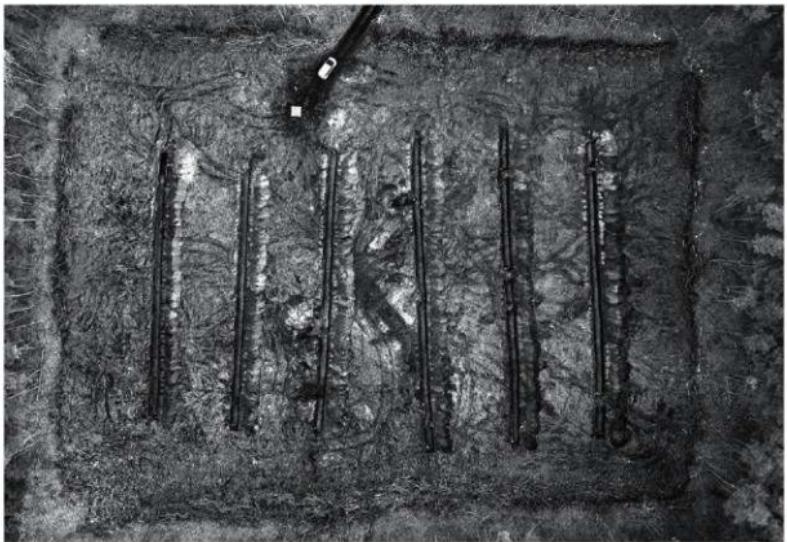


30号機

写真図版9 第2次調査地全景



2号機

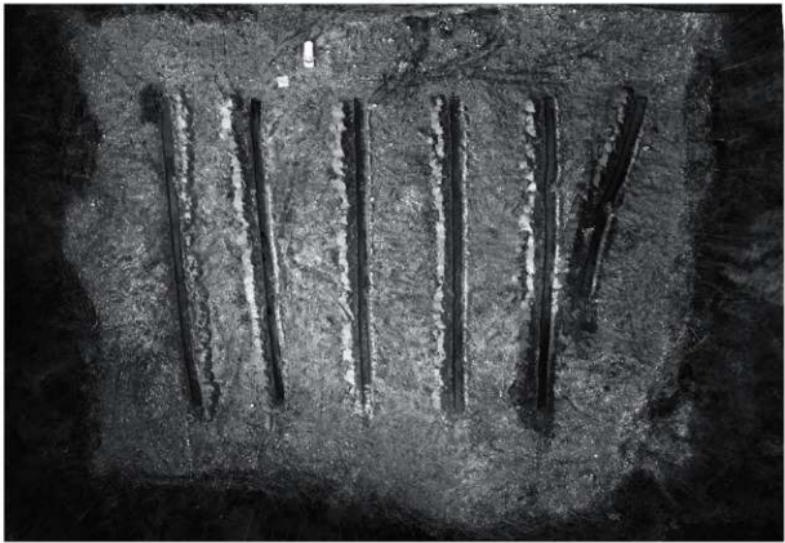


5号機

写真図版 10 第3次調査地全景



24号機



24号機

写真図版 11 第3次調査地全景



3号機 調査地近景



3号機 深掘断面及び4号遺構断面 (A2トレンチ西壁)



3号機 1・2号遺構 (A1トレンチ)



3号機 3号遺構 (A1トレンチ)



3号機 5・6・7・8号遺構 (Bトレンチ)



3号機 9・10・11・12号遺構 (C1トレンチ)



3号機 13号遺構 (D1トレンチ)



3号機 14号遺構 (E1トレンチ)

写真図版 12 第1次試掘調査



3号機 15号遺構 (F1トレンチ)



3号機 16号遺構 (A1トレンチ)



7号機 深掘断面 (Eトレンチ北東壁)



7号機 1・2号遺構 (Bトレンチ)



7号機 3号遺構 (Fトレンチ)



7号機 4号遺構 (Fトレンチ)



7号機 5号遺構 (Jトレンチ)



7号機 6号遺構 (Hトレンチ)

写真図版 13 第1次試掘調査



11号機 深掘断面 (Eトレンチ北東壁)



11号機 1号遺構内縫 (Gトレンチ)



11号機 木炭窯跡 (Cトレンチ)



16号機 調査地近景



16号機 深掘断面 (Dトレンチ北壁)



16号機 1号遺構 (Bトレンチ)



16号機 2号遺構 (Bトレンチ)



16号機 3号遺構 (Cトレンチ)

写真図版 14 第1次試掘調査



16号機 4号遺構 (Dトレンチ)



16号機 5・6号遺構 (Dトレンチ)



16号機 7号遺構 (Dトレンチ)



16号機 8号遺構 (Fトレンチ)



16号機 9号遺構 (Iトレンチ)



16号機 10・11号遺構 (Hトレンチ)



16号機 12号遺構 (Hトレンチ)



16号機 13号遺構 (Gトレンチ)

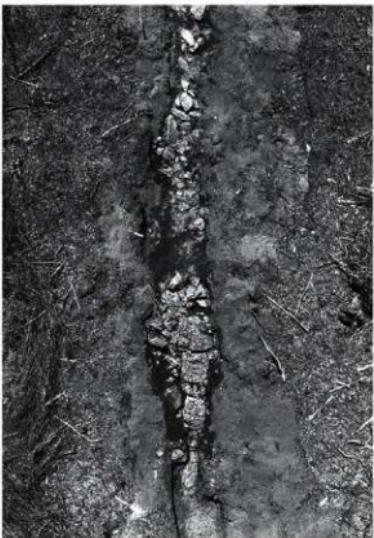
写真図版 15 第1次試掘調査



16号機 14号遺構 (Gトレンチ)



17号機 調査地遠景



17号機 崩落壁 (Aトレンチ)



17号機 深掘断面 (Eトレンチ東壁)



18号機 調査地近景



18号機 深掘断面 (Aトレンチ北西壁)



18号機 竪穴住居跡 (Cトレンチ)

写真図版 16 第1次・第2次試掘調査



18号機 竪穴住居跡 カマド・煙道付近



18号機 竪穴住居跡遺物



20号機 深掘断面 (Fトレンチ北東壁)



23号機 調査地近景



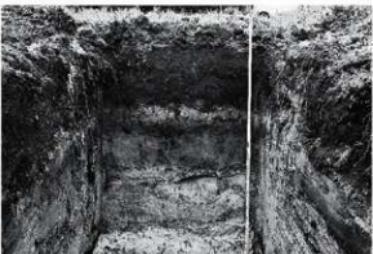
23号機 深掘断面 (Bトレンチ北東壁)



23号機 1号遺構 (Bトレンチ)



28号機 調査地近景



28号機 深掘断面 (Dトレンチ南壁)

写真図版 17 第2次試掘調査



30号機 調査地近景



30号機 Dトレンチ内 十和田中森火山灰層堆積状況（壁中央部の白色層）



2号機 深掘断面及び1号遺構断面（Bトレンチ）



5号機 深掘断面（Fトレンチ北壁）



5号機 1号遺構（Dトレンチ）



24号機 深掘断面（Eトレンチ北西壁）



24号機 1号遺構（Eトレンチ）



24号機 2号遺構（Fトレンチ）

写真図版 18 第2次・第3次試掘調査

報告書抄録

ふりがな	ひろのちょうないしきつちょうさほうこくしょ
書名	洋野町内試掘調査報告書
副書名	風力発電事業に伴う埋蔵文化財確認試掘調査
巻次	
シリーズ名	洋野町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 10 集
編著者名	千田政博 田中寿明
編集機関	洋野町教育委員会 株式会社アーキジオ
所在地	〒 028 - 7914 岩手県九戸郡洋野町種市 23 - 27 TEL 0194 - 65 - 2111
発行年月日	2021 年 3 月 5 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	°	°			
きたたまがねに いせき 北玉川 II 遺跡	いわてけんくのへでんじらのちゅう 岩手県九戸郡洋野町 おおおかだに さとう 種市第 14 地割	03507	IF58-2380	40° 22° 49°	141° 42° 51°	20191126 ~ 20191129	450m ²	風力発電 事業 (2 号機)
みなみたまがねに いせき 南玉川 II 遺跡	いわてけんくのへでんじらのちゅう 岩手県九戸郡洋野町 おおおかだに さとう 種市第 11 地割	03507	IF68-0306	40° 22° 34°	141° 43° 13°	20190424 ~ 20190510	345m ²	風力発電 事業 (3 号機)
みなみたまがねよんじせき 南玉川 IV 遺跡	いわてけんくのへでんじらのちゅう 岩手県九戸郡洋野町 おおおかだに さとう 種市第 11 地割	03507	IF68-0347	40° 22° 22°	141° 43° 17°	20191120 ~ 20191125	498m ²	風力発電 事業 (5 号機)
みなみたまがねいせき 南玉川 I 遺跡	いわてけんくのへでんじらのちゅう 岩手県九戸郡洋野町 おおおかだに さとう 種市第 11 地割	03507	IF68-0395	40° 22° 13°	141° 43° 15°	20190422 ~ 20190424 20190618 ~ 20190621	804m ²	風力発電 事業 (7 号機)
にしへ ま いせき 西戸類家 I 遺跡	いわてけんくのへでんじらのちゅう 岩手県九戸郡洋野町 おおおかだに さとう 種市第 10 地割	03507	IF68-1386	40° 21° 41°	141° 43° 12°	20190520 ~ 20190523	476m ²	風力発電 事業 (11 号機)

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東經	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	° ° °	° ° °			
はばにいせき 馬場II遺跡	いわてけんくのひでんじらのちょう 岩手県戸郡洋野町 たねいちだい ちわら 種市第7地割	03507	IF68-2394	40° 21° 00°	141° 43° 06°	20190516 ~ 20190520 20190613 ~ 20190614	793m ²	風力発電 事業 (16号機)
みなみかわにいせき 南玉川III遺跡	いわてけんくのひでんじらのちょう 岩手県戸郡洋野町 たねいちだい ちわら 種市第11地割	03507	IF68-1045	40° 21° 54°	141° 41° 02°	20190819 ~ 20190823	432m ²	風力発電 事業 (18号機)
こどものまわりいせき 小田ノ沢II遺跡	いわてけんくのひでんじらのちょう 岩手県戸郡洋野町 たねいちだい ちわら 種市第3地割	03507	IF78-1351	40° 20° 13°	141° 42° 52°	20190802 ~ 20190805	386m ²	風力発電 事業 (23号機)
ながさかにいせき 長坂II遺跡	いわてけんくのひでんじらのちょう 岩手県九戸郡洋野町 たねいちだい ちわら 小字内第7地割	03507	IF78-2269	40° 19° 37°	141° 42° 44°	20191115 ~ 20191120	434m ²	風力発電 事業 (24号機)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
北玉川I遺跡	狩獵場跡	縄文時代	溝状土坑	—	
南玉川I遺跡	狩獵場跡	縄文時代	溝状土坑 土 坑 不明遺構	—	
南玉川II遺跡	狩獵場跡 散布地	縄文時代 弥生時代	溝状土坑 土 坑 不明遺構	縄文土器 石 器 弥生土器	遺物多量
南玉川III遺跡	集落跡	奈良・平安時代	堅穴住居跡 木炭窯跡	土 壁	
南玉川IV遺跡	散布地	縄文時代	土 坑	—	
西戸類家I遺跡	散布地	縄文時代 弥生時代	土 坑	縄文土器 弥生土器	
馬場II遺跡	狩獵場跡	縄文時代	溝状土坑 土 坑 不明遺構	—	
小田ノ沢II遺跡	狩獵場跡	縄文時代	溝状土坑	—	
長坂II遺跡	狩獵場跡	縄文時代	溝状土坑	—	

洋野町埋蔵文化財調査報告書第10集

洋野町内試掘調査報告書
風力発電事業に伴う埋蔵文化財確認試掘調査
(2019年度調査)

印刷 令和3年2月25日

発行 令和3年3月5日

発行 洋野町教育委員会
〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市23-27
TEL (0194) 65-2111

印刷 有限会社 九戸印刷
〒028-0041 岩手県久慈市長内町24-10-13
TEL (0194) 52-1113
